

沖縄都市モノレール工作車庫増築工事

2016年度

沖縄都市モノレール株式会社

図面目録（工作車庫棟）

[illegible]

平成25年版

建築工事特記仕様書〔建築工事編〕

沖縄県土木建築部

制定 平成26年 3月25日

最終改定 平成 年 月 日

1 工事概要

(1) 工事名：沖縄都市モ／ル／工作車庫増築工事（建築）

(2) 工事場所：沖縄県那覇市宇安次嶺377-2（地域地区等：市街化調整地域）

(3) 敷地面積：34,584 m2

(4) 工事種目 工場

ア 建築物

建築物の名称	沖縄都市モ／ル／工場棟及び工作車庫増築工事（建築）		
主要用途	工作車庫棟（モ／ル／整備工場）		
構造及び階数	S造、平屋建		
工事種別	増築		
建築面積	588.66m2（既設：289.55+新設：299.11m2）		
延べ面積	588.66m2（既設：289.55+新設：299.11m2）		

イ 工作物及び立本

工作物等の名称	――		
数量	――		

2 本工事の設計時期

本工事の設計書は、平成 28年 4月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 建築工事仕様

(1) 標準仕様

図面及びこの特記仕様に記載されていない事項は、すべて官庁審判係統一基準の「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編）〔平成25年版〕（以下「標準仕様書」という。）による。

(2) 特記仕様

ア 章は、番号に○印の付いた章を適用する。

イ 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

ウ 特記事項は「・」に○印の付いたものを適用する。「・」に○印がつかない場合は「※」のついたものを適用する。「・」と「※」共に○印がついた場合は共に適用する。

エ 特記事項のうち【 】については、適用する事項を選択して記載すること。

オ 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表示。

カ 特記事項に記載の（参- ）は、国交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」〔平成25年版〕巻末の各部配図参考図の当該項目を示す。

キ 形状寸法の単位は、特記なき限りmmとし、質量も従来どおりkgであるが、力（N：ニュートン）、応力（N/mm2）、圧力（Pa：パスカル）、エネルギー（J：ジュール）等は基本的には国際単位系（SI単位）を使用する。

5 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力

ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

イ 調査票等を提出した事業所を事前に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請入を含む。）がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策

請負人は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する留意書（平成19年7月24日）に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。

ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査に必要な協力を行うこと。

イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。

ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。

(3) ワンデレスポンスの実施

ア この工事はワンデレスポンス実施対象工事である。

「ワンデレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。

エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

(4) 工事監督業務の一部委託

ア 本工事は、沖縄県財務規則第112条第1項の規定に基づき発注者又は建設工事請負契約書（以下「契約書」という。）第9条に基づく監督員（以下「監督員」という。）が行う監督業務の一部を委託し、職員以外のもの（以下「管理技術者等」という。）が監督業務の一部を実施する。

イ 受注者又は契約書第10条に定める現場代理人及び主任技術者等（以下「現場代理人等」という。）は、管理技術者等が監督員に代わり現場で立会等をする場合には、その業務に協力しなければならない。また、書類の届出に關し、説明を求められた場合はこれに応じなければならない。ただし、管理技術者等は、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しない。

ウ 監督員から現場代理人等に対する指示又は通知等は管理技術者等を通じて行うことがあるので、この際は監督員から直接指示又は通知等があったものと同等である。

エ 監督員の指示により、現場代理人等が監督員に対して行う報告又は通知等は、管理技術者等を通じて行うことができるものとする。

(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて

本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率（元契約額÷元設計額）を変更設計額または関連工事設計額に乘じた額で行う。

(6) 県産資材の優先使用

本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。

(7) 下請業者の県内企業優先活用

請負業者は、下請契約の相手方を県内企業（主たる営業所を沖縄県内に有する者。）から選定するように努めなければならない。

章

項 目

特 記 事 項

1

一般共通事項

①適用基準等

・建築工事監理指針〔国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修〕〔平成25年版〕

・建築工事標準詳細図〔国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修〕〔平成22年版〕

・敷地調査共通仕様書〔国土交通省・国営監第183号〕〔平成23年12月〕

・建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿〔平成21年版〕

・営繕工事写真撮影要領（平成24年版）・同解説 工事写真の撮り方（建築編）

・防錆に関する工事仕様書作成要領（案）〔沖縄県環境食料政策協議会発行〕〔平成3年7月〕

・「沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体等・再資源化等及び再生資源活用に関する実施要領」〔沖縄県土木建築部〕〔平成18年12月〕

・構造計画・施工計画の留意事項〔沖縄県土木建築部〕〔平成25年4月〕

登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。

(1.1.4)

工事の一時中止に係る計画の作成

(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。

なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

図示された範囲は【平成 年 月 日】までに完了すること。

4 既成工期

(1.2.1)

⑤品質計画等

(1.2.2)

⑥施工図等

(1.2.3)

⑥電気保安技術者

⑦施工中の安全確保及び環境保全等

(1.3.7)

(1.3.11)

⑧発生材の処理等

(1.3.8)

章

項 目

特 記 事 項

9交通安全管理

(1.3.9)

10主任技術者・監理技術者

(1) 工事請負代金額が2,500万円以上（建築一式工事の場合5,000万円以上）の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。

ア 現場施工に着手するまでの期間

【現場施工に着手する日が確定している場合】

請負契約の締結の日の翌日から平成 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。

【現場施工に着手する日が確定していない場合】

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。

イ 検査終了後の期間

工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事完成を確認した旨、受注者に通知した日（工事検査合格通知書における日付）とする。

(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

ア 建築法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。

イ 受注者は、着手前と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類（健康保険被保険者証等の写し）を提出しなければならない。

(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。

【○火災保険 ○建設工事保険 ○組立保険 ○請負業者賠償責任保険】

(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1ヶ月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。

(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。

ア 掛金収納書を契約後一ヶ月以内に発注者に提出する。

イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。

ウ 未加入下請業者に対する加入を指導する。

原則として、原材料にアスベストを含んだ建設資材を使用しないこと。

上記の確認にあたっては、メーカーが発行する「アスベストを原材料としない旨の証明書」などにより行うこととする。

(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、原則「ゆいくる材」とする。ただし、ゆいくる材がない離島等での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいくる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。

(2) ゆいくる材の品質管理

ア ゆいくる材の品質管理にあたっては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて行うこと。

イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。

ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。

エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。

適用工事種別	技能検定作業
鉄筋工事	鉄筋施工 鉄筋組み立て作業
コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工
ブロック・ALC・ECCP・パネル工事	ブロック建築 ALC・ECCP・パネル施工
防水工事	防水施工
石工事	石材施工（石張り）
タイル工事	タイル張り
木工事	建築大工
金属工事	内装仕上げ施工（鋼製下地工事）
左官工事	左官
建具工事	建具製作 サッシ施工 ガラス施工
塗装工事	塗装

15 化学物質の濃度測定

(1.5.9)

(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

	発生材の種類
発注者に引き渡すもの	監督員の指示による
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	監督員の指示による
現場において再利用を図るもの	監督員の指示による

(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税（沖縄県産業廃棄物税）が課税されるので、適正に処理すること。

(3) 工事着手前にあらかじめ、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出する。また、工事完成時には、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督員に提出する。なお、提出に当たっては国土交通省のホームページで提供されているCREDAS（クレダス）入カシステムで作成したデータ形式により行うこと。

(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に島外施設がない場合はこの限りではない。

(5) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前に掲げる施設のうち、受入条件の合う中から運搬費と処分費（平日受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいく。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。

章

項 目

特 記 事 項

9交通安全管理

(1.3.9)

10主任技術者・監理技術者

(1) 工事請負代金額が2,500万円以上（建築一式工事の場合5,000万円以上）の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。

ア 現場施工に着手するまでの期間

【現場施工に着手する日が確定している場合】

請負契約の締結の日の翌日から平成 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。

【現場施工に着手する日が確定していない場合】

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。

イ 検査終了後の期間

工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事完成を確認した旨、受注者に通知した日（工事検査合格通知書における日付）とする。

(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

ア 建築法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。

イ 受注者は、着手前と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類（健康保険被保険者証等の写し）を提出しなければならない。

(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。

【○火災保険 ○建設工事保険 ○組立保険 ○請負業者賠償責任保険】

(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1ヶ月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。

(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。

ア 掛金収納書を契約後一ヶ月以内に発注者に提出する。

イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。

ウ 未加入下請業者に対する加入を指導する。

原則として、原材料にアスベストを含んだ建設資材を使用しないこと。

上記の確認にあたっては、メーカーが発行する「アスベストを原材料としない旨の証明書」などにより行うこととする。

(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、原則「ゆいくる材」とする。ただし、ゆいくる材がない離島等での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいくる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。

(2) ゆいくる材の品質管理

ア ゆいくる材の品質管理にあたっては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて行うこと。

イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。

ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。

エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。

適用工事種別	技能検定作業
鉄筋工事	鉄筋施工 鉄筋組み立て作業
コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工
ブロック・ALC・ECCP・パネル工事	ブロック建築 ALC・ECCP・パネル施工
防水工事	防水施工
石工事	石材施工（石張り）
タイル工事	タイル張り
木工事	建築大工
金属工事	内装仕上げ施工（鋼製下地工事）
左官工事	左官
建具工事	建具製作 サッシ施工 ガラス施工
塗装工事	塗装

15 化学物質の濃度測定

(1.5.9)

(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

	発生材の種類
発注者に引き渡すもの	監督員の指示による
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	監督員の指示による
現場において再利用を図るもの	監督員の指示による

(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税（沖縄県産業廃棄物税）が課税されるので、適正に処理すること。

(3) 工事着手前にあらかじめ、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出する。また、工事完成時には、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督員に提出する。なお、提出に当たっては国土交通省のホームページで提供されているCREDAS（クレダス）入カシステムで作成したデータ形式により行うこと。

(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に島外施設がない場合はこの限りではない。

(5) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前に掲げる施設のうち、受入条件の合う中から運搬費と処分費（平日受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいく。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。

章

項 目

特 記 事 項

17完成図の提出図書

(1.7.1)

(2) 測定対象化学物質が濃度計値幅を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

(1) 本工事は電子納品対象工事とする。

ア 工事完成時の提出図書は電子媒体(CD-R)で納品する。電子納品に関する基準は、「電子納品運用ガイドライン（案）」〔営繕事業編〕によるほか、監督員の指示による（署名捺印の取扱いは同ガイドライン（案）によるほか、監督員と協議すること）。

イ 納品する電子媒体は、一般財団法人沖縄県建設技術センターにおいて収録内容の確認を受けた後に、同センター発行の確認証とともに提出する。

ウ 電子化に要する費用は共通費に含まれているものとする。

(2) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。

18 情報共有システム

本工事は、沖縄県が指定する情報共有システムを使用する。

(1) 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境及びパソコンを整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。

【インターネット環境】：ブロードバンド回線

【パソコンOS】：Microsoft Windows Vista/7/8

【推奨ブラウザ】：Internet Explorer 8.0/9.0/10.0

情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。

(2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあつては1件当たり67,000円にその消費税相当額を加えた使用承諾料を「沖縄県CALSシステム運営業務」を委託している者に支払うこと。

(3) 沖縄県CALSシステム使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること（支払いの事実を証明する書類（銀行振込の写し等）を提出）。

2仮設工事

1工事用水

構内既存の施設：【 ・利用できない ○利用できる（有償） ・利用できる（無償） 】

2工事用電力

構内既存の施設：【 ・利用できない ○利用できる（有償） ・利用できる（無償） 】

3環境対策について

(1) 受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調査、検討を十分に行之い、監督員の確認を得た上で施工すること。

(2) 赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示による。

・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。

規模(m2)	
仕上げ	
内 壁・天井	
屋根	
備品の種類及び数量	

3土工事

1 掘戻し及び盛土

掘戻し及び盛土の種類：【 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種】 (3.2.3)（表3.2.1）

2 山留めの撤去

山留めの存置：【 ・存置する ・存置しない 】 (3.3.3)（表3.3.3）

3 磁気探査

○磁気探査は本工事に含む（水平探査及び鉛直探査は別途とする。）

4地業工事

1 敷荷試験

(4.2.3) (4.2.4)

	敷荷試験の種類	試験の方法	試験の位置	敷荷荷重	報告書の記載事項
犬走り					

2 杭地業

(1) 杭地業の種類と工法

(4.3.1) (4.4.1) (4.5.1)

杭地業の種類	工法
○ 図示による	○ 図示による

(2) 杭の寸法等

(4.2.2) (4.3.2) (4.4.2) (4.5.3)（表4.4.1）

試験杭	杭径	杭長(m)	種類	根手数	先端部の形状	備考
○ 図示による						・位置は図示による

本杭	○ 図示による					
----	---------	--	--	--	--	--

(3) 杭の品質等

(4.3.3) ～ (4.3.7) (4.4.3) ～ (4.4.6)

設計支持力	推定支持力の算定方法	水平方向のずれ精度	根手工法	杭頭の処理
○ 図示による				

(4) 支持地盤

(4.3.3) ～ (4.3.5) (4.4.3) (4.4.4) (4.5.4) (4.5.5)

支持地盤の位置	支持地盤の種類	支持地盤への掘削深さ	支持地盤への掘入れ深さ
○ 図示による			

(5) 場所打ちコンクリートにおける材料等

(4.5.3)

ア 鉄筋	
帯筋	鉄筋の最小かぶり厚さ 備考
【 ・（参-2.2） ・ 図示 】	

イ コンクリート

設計基準強度	種別	備考
○ 図示による		

3 床下防湿層

防湿層の範囲は、図示による。 (4.6.5)

工事名称	沖縄都市モ／ル／工作車庫増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次嶺377-2	図面名称	建築工事特記仕様書-1
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/1(A1)・1/2(A3)
図面番号	A-01	図面番号	A-01
検 査	管理建築士 設 計 製 図	設 計 者	名 称 株式会社 横路銘設計 資格者氏名 一級建築士 横路銘 剛次 登 録 番 号 大臣登録 第312770号 所 在 地 沖縄県那覇市松山2丁目8番17号

5鉄筋工事

1鉄筋

(5.2.1)

種類の記号	呼び名	備考

2溶接金網

(5.2.2)

網目の形状	寸法	鉄線の径	備考

3継手及び定着

(5.3.4)

(1) 継手の種類等

部位	継手の種類	備考

(2) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承認を受けて施工すること。

4鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(5.3.5)

(1) 経重コンクリートの場合の最小かぶり厚さ：

(2) 塩害を受けるおそれのある部分等の位置及び最小かぶり厚さ：

(3) 機械式継手及び溶接継手の場合のあきの寸法：

5各部配筋

(5.3.7)

施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項
	【 ・ (参ー . .) による。 ・ 図示 】	
	【 ・ (参ー . .) による。 ・ 図示 】	

6コンクリート工事

1コンクリートの強度

種類	類別等	設計基準強度 (Fc)	気乾単位容積質量	適用箇所

(6.1.3) (6.1.4) (6.2.2) (6.2.1) (6.2.2) (6.2.3) (6.10.1) (6.13.1) (6.14.1) (6.15.1)

2コンクリートの強度試験

材料の圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。

3コンクリート打放し仕上げ

仕上げの種類	外壁し厚さ	施工箇所	備考

(6.2.5) (6.8.2)

4コンクリートの品質管理

・ 工事に使用するコンクリートは事前に試し、練りを行い、その品質等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報告する。

5目地

(1) 折廻り目地の寸法は、図示による。

(2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。

(6.6.3) (6.9.2)

6暑中コンクリート

暑中コンクリートの適用は【 月 日】から【 月 日】までとする。

7品質確保

・ レディーミクストコンクリートの品質確保については、「レディーミクストコンクリートの品質確保について」（平成15年11月10日付け国営建築第95号）及び「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について」（平成15年11月10日付け国営建築第11号）を適用する。

7鉄骨工事

①鋼材

記号の種類	適用箇所	備考
		形状及び寸法は、図示による。
	構造図面参照	形状及び寸法は、図示による。

(7.2.1) (表7.2.1)

②高力ボルト

種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考 (すべり係数試験等)
					形状及び寸法は、図示による。

(7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)

③普通ボルト

径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考

(7.2.3) (7.3.2)

④アンカーボルト

名称	材質	形状及び寸法	保持及び埋込み法	備考

※形状及び寸法は、図示による。(7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1)

5デッキプレート

名称	材質	形状	寸法	備考

※形状及び寸法は、図示による。(7.2.7) (7.7.8)

8コンクリートブロック・ALCパネル・ECP工事

⑧コンクリートブロック造

種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	設計基準強度 (Fc)	各部の配筋

(8.2.2) (8.2.4) (8.2.5)

2コンクリートブロック横壁及び壁

適用箇所	種類及びモジュール呼び寸法	正味厚さ	各部の配筋

(8.3.2) (8.3.3)

③ALCパネル

(1) パネルの種類等

パネルの種類	単位荷重	厚さ	長さ	取付け工法

(8.4.2) ～ (8.4.5) (表8.4.2) (表8.4.3)

(2) 床パネルの耐火性能：【 ・ 1時間 ・ 2時間 】

(8.4.2)

④押出成形セメント板 (ECP)

パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	取付け工法
標準パネル (素地)	プレーン	60mm	600mm	標準横張り

(8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)

9防水工事

①防水の種類

(1) 防水の種類等

(9.2.2) (9.3.2) (9.4.2) (9.5.2) (9.6.1)

防水の種類	厚さ	施工箇所
ウレタン系	3mm	図示

(2) 防水層の種類

(9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3) (9.6.3)

防水層の種類	工法	備考
ウレタン系	X-1	塗膜防水
		図示

(表9.2.3) ～ (表9.2.8) (表9.3.1) ～ (表9.3.3) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.5.1) (表9.5.2) (表9.6.1)

(3) その他の材料等

・ 押え金物 (材質) (寸法)

・ 絶縁用シート (材質) ()

・ 断熱材 (材質) (厚さ)

・ 立上り部保護 (材質) (工法等)

・ 脱気装置 (材質) (設置数)

・ 仕上塗料 (材質) (使用量)

(4) 施工

○下地の処理方法等 (材質 接着剤)

シーリング材の種類

施工箇所

試験等

PU-2 ポリウレタン系	打継目地・誘発目地・構造スリット	
MS-2 変成シリコン系	建具周囲・押出成形材・板目地	

(9.7.2) (9.7.3) (9.7.5)

②シーリング

③補償

10石工事

1石材

(10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

材料	厚さ	種類	備考
無収縮モルタル	図示	A種	
(7.2.9) (7.10.3)			

開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカルップの形状	溶接部の試験
図示による	図示による	図示による	図示による

(7.6.3) (7.6.4) (7.6.7) (7.6.11)

2壁の石張り工法

(1) 工法、加工等

(10.3.1) (10.3.2) (10.4.1) (10.4.2) (10.5.1) (10.5.2)

工法	厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考

(10.2.2)

(2) 乾式工法の方式：【 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 】

(10.2.2)

(3) あと施工アンカーの材質及び寸法：

(10.2.3)

(4) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質：

(10.2.3)

3床及び階段の石張り

4特殊部位の石張り

厚さ	石裏面処理	目地幅	備考

(10.6.2) (10.6.3)

施工箇所	工法	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	備考

(10.7.1) (10.7.2) (10.7.3)

11タイル工事

(1) タイルの種類

施工箇所	寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	備考

(11.2.2) (11.3.2) (11.4.2)

(2) タイルの試験張り：【 ・ 行う ・ 行わない 】

(11.2.7) (11.3.7)

(3) タイルの見本焼き：【 ・ 行う ・ 行わない 】

(11.4.3) (表11.4.1)

壁タイル張りの工法等

(11.2.7) (11.3.7)

タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗布等

(表11.2.3) (表11.3.2)

種類

適用タイル

タイル型枠先付け面のせき板

(11.4.3) (表11.4.1)

12木工事

1木材

(12.2.1)

(1) 製材

【 ・ 「製材の日本農林規格」による ・ 「製材の日本農林規格」以外による】

適用	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理・難燃処理

(表12.2.2) (表12.2.3)

・ 代用樹種の使用の禁止

(表12.2.3)

(2) 造作用集成材

【 ・ 「集成材の日本農林規格」による ・ 「集成材の日本農林規格」以外による】

適用	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	備考

(表12.2.2) (表12.2.3)

(3) 造作用単板積層材

【 ・ 「単板積層材の日本農林規格」による ・ 「単板積層材の日本農林規格」以外による】

適用	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理

(表12.2.2) (表12.2.3)

(4) 合板等

【 ・ 「単板積層材の日本農林規格」による ・ 「単板積層材の日本農林規格」以外による】

適用	樹種	厚さ品質、等級等	接着の程度	防虫・難燃・防災・強度等

(表12.2.2) (表12.2.3)

②土壌処理

土壌処理 (防蟻)

(1) 施工箇所：「防除施工標準仕様書」(社団法人日本しろあり対策協会発行)Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。

(2) 処理薬剤：社団法人日本しろあり対策協会の認定品とする。

3防腐・防蟻・防虫処理

(3) 処理方法：「防除施工標準仕様書」Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。

木材処理 (防蟻・防虫)

(1) 施工箇所：合板、集成材等を除く全ての木材

(2) 処理方法：工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。

(3) 性能区分：性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。

ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1＋保存処理K3とする。

イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。

4防蟻処理、防虫処理の施工及び補償

(1) 社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

(2) 元請業者と施工業者の連署による補償書を監督員に提出する。なお、補償期間は、処理施工後5年とする。

13屋根及びとい工事

①屋根葺きの形式及び工法

形式	工法	形状・板厚	材料	備考
ALC(幅600×2500)	敷設貼構法	厚100mm	ALC	ウレタン防水

(13.2.3) (13.3.2) (13.3.3) (13.4.2) (13.4.3) (表13.2.1)

2県産瓦葺

(1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。

(2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

【 ・ 1名以上配置 ・ 施工面積 m2につき、 級技能評価試験に合格した者を 1名配置 】

③とい

材種	規格名称	材質	備考
硬質強化ビニル管	JISK 6741	VP	縦樋
ルーフドレン			

縦樋：受金物：SUS304製 バンドタイプ (13.5.2) (表13.5.1)

軒樋：特殊耐酸被覆鋼板、t=1.6mm 曲げ加工

14金属工事

①アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理の種類をB-1種又はB-2種としたときの複合皮膜の種類

【 ○A1 ・ A2 】 (JIS H 8602)

(14.2.2) (14.7.2) (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)

②鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理方法	種類	施工箇所
溶融亜鉛メッキ	2種HDZ55	外部 鉄面 (鋼材)

(14.2.3) (表14.2.2)

3軽量鉄骨天井下地

(14.4.3)

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔	野縁の間隔	備考

・ 天井等落下防止対策

④金属成形板張り

(1) 金属成形板の種類及び表面処理： 厚0.8mm カラー・ガルバリウム鋼板 (14.6.2)

(2) 長尺の場合における伸縮調整継手： (14.6.3)

5アルミニウム製笠木

(14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)

(1) 構成部材による種類：

(2) アルミニウム製笠木本体の材料の表面処理の種類及び複合皮膜の種類は次による。

種類：【 ・ A-1 ・ B-1 】

種別をB-1とした場合の複合皮膜の種類：【 ・ A1 ・ A2 】 (JIS H 8602)

(3) 固定金具の間隔及び固定方法：

⑥手すり及びタラップ

(14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)

①手すり

ア 表面処理の種類をB-1種又はB-2種としたときの複合皮膜の種類

【 ・ A1 ・ A2 】 (JIS H 8602)

②取付け金物等は、全てステンレス (SUS 304) とする。

- ステンレスの表面仕上げ No.2Bとする。

②タラップ

ア 表面処理の種類をB-1種又はB-2種としたときの複合皮膜の種類

【 ・ A1 ・ A2 】 (JIS H 8602)

③取付け金物等は、全てステンレス (SUS 304) とする。

④足掛かり部は、スリッパ止め加工とする。

⑤図示

7EXP、J

工事名称

沖縄都市モノレール工事準備工事 (建築)

工事年度

平成 28 年度

工事場所

沖縄県那覇市宇安次第3 7ー2

図面名称

建築工事特記仕様書ー2

発注機関

沖縄都市モノレール株式会社

縮 尺

S=1/1(A1)・1/2(A3)

図面番号

Aー02

描 要

管理建築士 設 計 製 図

検 印

名 称 株式会社 根路銘設計

資格者氏名 一級建築士 根路銘 剛次

登録番号 大臣登録 第312770号

所在地 沖縄県那覇市松山2丁目8番17号

章	項 目	特 記 事 項			章	項 目	特 記 事 項			章	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																				
15 左 官 工 事	1 モルタル塗り	(1) 既製目地材の適用及び形状： 図示による (15. 2. 2) (2) 床の目地の設置及び工法： 図示による (15. 2. 5)																																																																																																																																																																																																														
	2 セルフレベリング材塗り	セルフレベリング材の種類：【 ・せっこう系 ・セメント系 】(15. 4. 2) (表15. 4. 1)																																																																																																																																																																																																														
	3 仕上塗材仕上げ (15. 5. 2)	<table><tr><td>種類</td><td>呼び名</td><td>仕上げの形状等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (表15. 5. 1)			種類	呼び名	仕上げの形状等																																																																																																																																																																																																									
	種類	呼び名	仕上げの形状等																																																																																																																																																																																																													
4 マスチック塗料塗り	<table><tr><td>工程</td><td>種別</td><td>塗料その他</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (表15. 6. 1)			工程	種別	塗料その他																																																																																																																																																																																																										
工程	種別	塗料その他																																																																																																																																																																																																														
5 ロックウール吹付け	仕上げ厚さ： (15. 7. 3)																																																																																																																																																																																																															
16 建 具 工 事	1 防火戸等	(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。 (16. 1. 3) (2) 防犯建物部品の適用は、図示による。 (16. 1. 6)																																																																																																																																																																																																														
	2 見本の製作等 (16. 1. 4)	(1) 建具見本の製作：【 ・行う ・行わない 】 (2) 特殊な建具の仮組：【 ・実施する ・実施しない 】																																																																																																																																																																																																														
	3 アルミニウム製建具 (16. 2. 2) (16. 2. 4) (16. 2. 5) (表14. 2. 1) (表16. 2. 1)	(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>その他</td><td>S-7</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>70</td><td>外部に面する建具</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>適用箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 外部に面する建具の表面処理の種別及び複合皮膜の種別 種別：B-1 複合皮膜の種類：【 ○A1 ・A2 】(JIS H 8602) (4) 結露水の処理方法： (5) 水切り及びびぜん板等の加工及び組立は、図示による。 (1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>適用箇所</td><td>種別</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 表面色： (4) 水切り及びびぜん板等の加工及び組立は、図示による。 建具の性能等 (16. 4. 2) (表16. 2. 1) (表16. 4. 1) <table><tr><td>施工箇所</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>耐風圧性</td><td>備考 (材料等)</td></tr><tr><td>外部に面する建具</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>S-7</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 4 樹脂製建具 (16. 3. 2) (16. 3. 3) (16. 3. 4) (16. 3. 5) (表16. 3. 1) (表16. 3. 2) (表16. 3. 3)			種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所	その他	S-7	A-4	W-5	70	外部に面する建具																			ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考					種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所																									ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考						施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考 (材料等)	外部に面する建具	A-4	W-5	S-7							(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>適用箇所</td><td>種別</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 表面色： (4) 水切り及びびぜん板等の加工及び組立は、図示による。 5 鋼製建具 (16. 5. 2) (16. 5. 3) (表16. 2. 1)			種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所													ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考						(1) 建具の性能等 (16. 4. 2) (表16. 2. 1) (表16. 4. 1) <table><tr><td>施工箇所</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>耐風圧性</td><td>備考 (材料等)</td></tr><tr><td>外部に面する建具</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>S-7</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 6 鋼製軽量建具 (16. 5. 2) (16. 5. 3) (表16. 2. 1)			施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考 (材料等)	外部に面する建具	A-4	W-5	S-7							(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) ビニル被覆鋼板：【 ・使用する ・使用しない 】 (3) カラー鋼板の適用：【 ・使用する ・使用しない 】 建具の性能等 (16. 6. 2) (表16. 2. 1) (表16. 4. 1) <table><tr><td>施工箇所</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>耐風圧性</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 7 ステンレス製建具 (16. 8. 2) (16. 8. 3) (表16. 8. 1)			種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所													施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考											(1) 建具の性能等 <table><tr><td>形式</td><td>金物の種類</td><td>見え掛り部の材質</td><td>備考</td></tr><tr><td>図示による</td><td>図示による</td><td>図示による</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 建具用金物の取付け位置は、図示による。 8 木製建具 (16. 8. 4)			形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考	図示による	図示による	図示による														(1) マスターキー：【 ○製作する ・製作しない 】 (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。		
	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所																																																																																																																																																																																																										
	その他	S-7	A-4	W-5	70	外部に面する建具																																																																																																																																																																																																										
	ドアセット等の種類	適用箇所	等級	備考																																																																																																																																																																																																												
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所																																																																																																																																																																																																											
ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考 (材料等)																																																																																																																																																																																																												
外部に面する建具	A-4	W-5	S-7																																																																																																																																																																																																													
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所																																																																																																																																																																																																											
ドアセット等の種類	適用箇所	種別	等級	備考																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考 (材料等)																																																																																																																																																																																																												
外部に面する建具	A-4	W-5	S-7																																																																																																																																																																																																													
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	施工箇所																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考																																																																																																																																																																																																												
形式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考																																																																																																																																																																																																													
図示による	図示による	図示による																																																																																																																																																																																																														
17 カー テン ウ ォ ール 工 事	1 カーテンウォール (17. 2. 2) (17. 2. 3) (17. 2. 6) (17. 3. 2) (17. 3. 3) (17. 3. 6)	(1) カーテンウォールの種類：【 ・メタル ・P C 】 (2) 性能 <table><tr><td>耐風圧性能</td><td>耐震性</td><td>水密性</td><td>気密性</td><td>耐火性</td><td>耐温度性</td><td>遮音性</td><td>断熱性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 材料の種類 <table><tr><td>金属材料</td><td>シーリング材</td><td>耐火目地材</td><td>断熱材</td><td>ガラス</td><td>構造ガスケット</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ： (5) P Cカーテンウォールの仕上げ： (6) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け： (7) 性能の確認方法：監督員の承諾による。			耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性									金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	ガラス	構造ガスケット																																																																																																																																																																																						
	耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																																																																																																																																																																																																								
金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	ガラス	構造ガスケット																																																																																																																																																																																																											
18 塗装工事	1 塗装の種類及び種別 (18. 1. 7) (18. 2. 2) ~ (18. 14. 2)	1 カーテンウォールの種類：【 ・メタル ・P C 】 (2) 性能 <table><tr><td>耐風圧性能</td><td>耐震性</td><td>水密性</td><td>気密性</td><td>耐火性</td><td>耐温度性</td><td>遮音性</td><td>断熱性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 材料の種類 <table><tr><td>金属材料</td><td>シーリング材</td><td>耐火目地材</td><td>断熱材</td><td>ガラス</td><td>構造ガスケット</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ： (5) P Cカーテンウォールの仕上げ： (6) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け： (7) 性能の確認方法：監督員の承諾による。			耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性									金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	ガラス	構造ガスケット																																																																																																																																																																																						
耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																																																																																																																																																																																																									
金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	ガラス	構造ガスケット																																																																																																																																																																																																											
19 内 装 工 事	1 ビニル床シート等 (19. 2. 2) (19. 2. 3)	(1) ビニル床シート等の材料及び工法 <table><tr><td>品名</td><td>種類</td><td>施工箇所</td><td>色柄</td><td>厚さ</td><td>工法</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊機能床材の仕様： <table><tr><td>品名</td><td>種類</td><td>施工箇所</td><td>パイル形状</td><td>工法</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (19. 3. 3) (19. 3. 4) (表19. 3. 1) (表19. 3. 2) 2 カーペット敷き (19. 3. 3) (19. 3. 4) (表19. 3. 1) (表19. 3. 2) 3 合成樹脂塗床 (19. 4. 3) 厚膜型硬質ウレタン樹脂系塗り床材 ビューコート (A B C 商会) 流しのべースト工法(2.0mm) <table><tr><td>品名</td><td>工法</td><td>施工箇所</td><td>備考 (モザイクパーケットの樹脂等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (19. 5. 2) (19. 5. 3) (19. 5. 6) 4 フローリング張り (19. 5. 2) (19. 5. 3) (19. 5. 6) 5 フローリングボードの特殊張り (19. 5. 2) (19. 5. 3) (19. 5. 6) 体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。			品名	種類	施工箇所	色柄	厚さ	工法																									品名	種類	施工箇所	パイル形状	工法											品名	工法	施工箇所	備考 (モザイクパーケットの樹脂等)													1 カーテンウォールの種類：【 ・メタル ・P C 】 (2) 性能 <table><tr><td>耐風圧性能</td><td>耐震性</td><td>水密性</td><td>気密性</td><td>耐火性</td><td>耐温度性</td><td>遮音性</td><td>断熱性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 材料の種類 <table><tr><td>金属材料</td><td>シーリング材</td><td>耐火目地材</td><td>断熱材</td><td>ガラス</td><td>構造ガスケット</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ： (5) P Cカーテンウォールの仕上げ： (6) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け： (7) 性能の確認方法：監督員の承諾による。			耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性									金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	ガラス	構造ガスケット																																																																																																																						
	品名	種類	施工箇所	色柄	厚さ	工法																																																																																																																																																																																																										
品名	種類	施工箇所	パイル形状	工法																																																																																																																																																																																																												
品名	工法	施工箇所	備考 (モザイクパーケットの樹脂等)																																																																																																																																																																																																													
耐風圧性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度性	遮音性	断熱性																																																																																																																																																																																																									
金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	ガラス	構造ガスケット																																																																																																																																																																																																											
20 ユニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	1 フリ-アクセスフロア (20. 2. 2)	適用箇所 寸法 高さ 耐震性能 所定荷重 帯電防止性能 漏えい抵抗 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																														
2 可動間仕切 (20. 2. 3)	適用箇所 構造形式 構成基材 遮音性 表面仕上げ 建具寸法等 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																															
3 移動間仕切 (20. 2. 4)	適用箇所 種類 表面材 操作方法 遮音性 備考 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																															
4 トイレブース (20. 2. 5)	表面材の材質 脚部の形状及び寸法 ドアエッジの形状及び材質 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																															
5 階段滑り止め (20. 2. 6)	材種 形状 寸法 備考 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																															
6 ブラインド (20. 2. 12)	形式 種類 スラットの材質 スラットの幅 施工箇所 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																															
7 ロールスクリーン (20. 2. 13)	操作方法 幅及び高さ 材種 品質等 施工箇所 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																															
8 カーテン (20. 2. 14)	形式 開閉操作 きれ地の種別等 施工箇所 備考 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																																																																																																																																																																																																															
9 くつふきマット (20. 2. 13)	(1) くつふきマットの材種：【 ・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製 】 (2) 受け枠の材種：【 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製 】																																																																																																																																																																																																															
10 流しユニット	<table><tr><td>名称</td><td>寸法</td><td>適用内容</td><td>規格・品質</td><td>備考</td></tr><tr><td>流し台</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンロ台</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考	流し台					コンロ台																																																																																																																																																																																																		
名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考																																																																																																																																																																																																												
流し台																																																																																																																																																																																																																
コンロ台																																																																																																																																																																																																																
21 排 水 工 事	1 排水管 (21. 2. 1)	材種 管の種類 呼び径 備考 <table><tr><td>硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>V P</td><td>図示による</td><td></td></tr></table>			硬質ポリ塩化ビニル管	V P	図示による																																																																																																																																																																																																									
	硬質ポリ塩化ビニル管	V P	図示による																																																																																																																																																																																																													
2 側溝、排水枡等 (21. 2. 2) (21. 2. 3)	(1) 側溝 <table><tr><td>形状</td><td>寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td>図示による</td><td>図示による</td><td>図示による</td></tr></table> (2) 排水枡 <table><tr><td>種類</td><td>適用荷重</td><td>備考</td></tr><tr><td>図示による</td><td>図示による</td><td>図示による</td></tr></table> (3) グレーチング <table><tr><td>材質</td><td>用途</td><td>適用荷重</td><td>メインバーピッチ</td><td>備考</td></tr><tr><td>図示による</td><td>図示による</td><td>図示による</td><td>図示による</td><td></td></tr></table> 基礎の厚さ及び種類：図示による (21. 3. 3) コンクリート縁石及び側溝 (21. 4. 2) <table><tr><td>名称</td><td>規格名称</td><td>形状</td><td>寸法等</td><td>備考</td></tr><tr><td>次世代型落蓋側溝</td><td>側溝</td><td></td><td>図示による</td><td></td></tr></table> 3 基礎 (21. 3. 3) 4 樹きよ、縁石及び側溝 (21. 2. 2) (21. 2. 3)			形状	寸法	備考	図示による	図示による	図示による	種類	適用荷重	備考	図示による	図示による	図示による	材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考	図示による	図示による	図示による	図示による		名称	規格名称	形状	寸法等	備考	次世代型落蓋側溝	側溝		図示による																																																																																																																																																																														
形状	寸法	備考																																																																																																																																																																																																														
図示による	図示による	図示による																																																																																																																																																																																																														
種類	適用荷重	備考																																																																																																																																																																																																														
図示による	図示による	図示による																																																																																																																																																																																																														
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考																																																																																																																																																																																																												
図示による	図示による	図示による	図示による																																																																																																																																																																																																													
名称	規格名称	形状	寸法等	備考																																																																																																																																																																																																												
次世代型落蓋側溝	側溝		図示による																																																																																																																																																																																																													
22 舗 装 工 事	1 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (22. 2. 5) (表22. 2. 2)	(1) 路床の種類等 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (22. 2. 5) (表22. 2. 2) <table><tr><td>層の種類</td><td>厚さ</td><td>盛土の材料</td><td>路床安定処理</td><td>試験</td></tr><tr><td>図示による</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) ジオテキスタイルの適用及び品質：			層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験	図示による																																																																																																																																																																																																						
	層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験																																																																																																																																																																																																											
図示による																																																																																																																																																																																																																
2 路盤 (22. 3. 2) (22. 3. 5)	(1) 車道部の厚さ：図示による (22. 3. 2) (2) 締固め度試験： (22. 3. 5)																																																																																																																																																																																																															

■物件概要

工 事 名 称		沖縄都市モノレール工場棟及び工作車庫増築工事（建築）
敷 地	敷 地 位 置	沖縄県那覇市字安次嶺 3 7 7 - 2
	都 市 計 画 区 域	・都市計画区域内（ ・市街化区域 ○市街化調整区域 ・区域区分非設定 ） ・都市計画区域外
	用 途 地 域	・第一種低層住専 ・第2種低層住専 ・第1種中高層住専 ・第2種中高層住専 ・第1種住居 ・第2種住居 ・準住居 ・近隣商業 ・商業 ・準工業 ・工業 ・工業専用 ○指定なし
	防 火 地 域	・防火 ・準防火 ・法22条の地域 ○指定なし ・2つの地域にわたる場合（防火 準防火 ）㎡
	そ の 他 の 指 定	・特別用途地区（ ・特別工業地区 ・文教地区 ・特別業務地区 ） ・高度利用地区 ・風致地区 ・臨港地区 ・地区計画 ・再開発地区計画 ・土地区画整理事業地区 ・市街地再開発事業地区 ・災害危険区域
道 路	道 路 巾 員	北西側： 25.00 m
	接 道 長 さ	北西側： 460.00 m
建 築 概 要	建 物 用 途	工場（工作車庫）
	工 事 種 別	・新築 ○増築 ・別棟増築 ・増改築 ・改築 ・移転 ・用途変更 ・大規模の修繕 ・大規模の模様替え
	構 造	・鉄筋コンクリート造 ○鉄骨造 ・木造 ・その他（ ）
	階 数	地上 1 階 地下 階
	防 火 対 象 物	非特定防火対象物
規 制	指 定 建 べ い 率 ・ 容 積 率	建 べ い 率 60 % 容 積 率 200 %
	高 さ 制 限	・道路斜線 ・隣地境界斜線 ・北側斜線 ・第1種低層住居専用地域（・10m ・12m ） ・日影規制
	条 例 関 係	・福祉のまちづくり条例 ○景観形成条例（大規模行為の届出）・電波障害防止建築指導要綱 ・赤土等流出防止条例

■附近見取図



附近見取り図

※ ~~中間~~・完了検査時の特記事項（提出書類）

共通事項	鉄筋コンクリート工事関係	鉄骨工事関係
1. 工事監理報告書（監理者） 2. 検査チェックシート（施工者、監理者） 3. 工事施工写真[工程写真] 4. 材料証明書[鋼材、コンクリートを除く]	1. コンクリート工事施工計画報告書[県様式] 若しくは コンクリート配合計画書 2. コンクリート工事施工結果報告書[県様式] (施工者、監理者) 3. 鉄筋ミルシート 4. 鉄筋圧接部 超音波探傷検査報告書 5. 杭工事施工結果報告書 6. その他必要と認める書類	1. 鉄骨工事施工状況報告書[基準法規定] 2. 制作要領書 3. 鋼材ミルシート 4. 溶接部社内検査結果報告書 5. 溶接部受入検査結果報告書（第三者検査） 6. 鉄骨制度測定結果 7. その他必要と認める書類

※ 石綿、ホルムアルデヒドの発散措置等による特記事項（建築基準法28条の2）

石綿、ホルムアルデヒドの発散措置等	工事完了時提出書類
・室内及び天井裏等における建築材料は全てJIS・JAS等級F☆☆☆☆及び告示対象以外を使用する。（規制対象外） ・機械換気設備は常時第3種換気設備とし、規定回/h以上の換気回数を確保する。 ・建具の通気措置は、換気ガラリ、ドアのアンダーカット1cm以上、引き戸、ふすま、障子とする。	1) 使用する建築材料の証明、認定書の写しを提出する。 2) 内装の主要な部分毎に、建築材料の種別が判断できる写真を提出する。（ホルムアルデヒド発散材料の等級、撮影日時及び現場名） 3) 2) によることできない場合は建築材料の出荷証明書（納品伝票）を提出する。 ※工種別に使用材料一覧表、上記資料等にインデックスを張りファイルに綴じ提出する。 写真はA4版の台紙に添付（デジカメでも可）

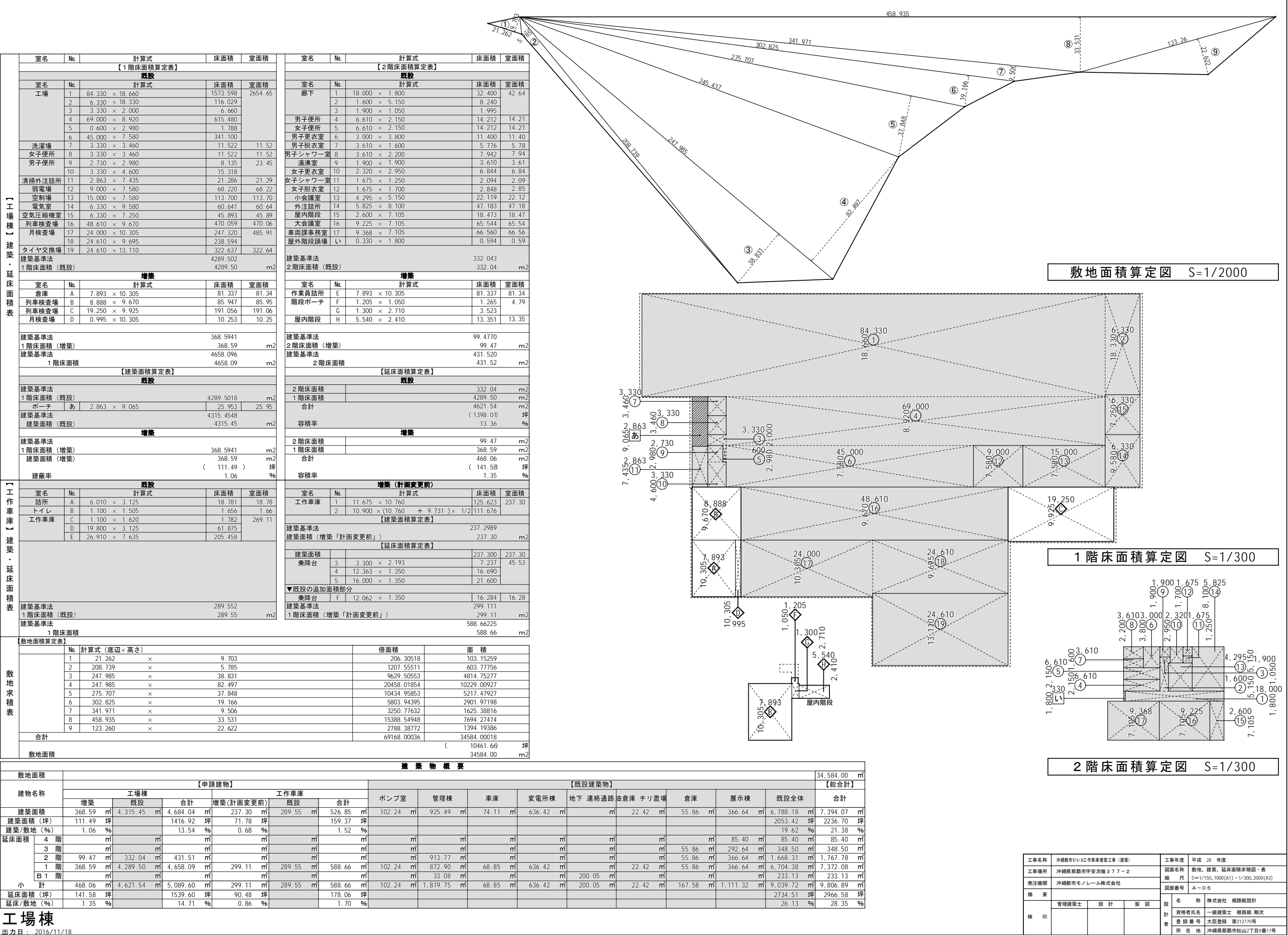
■法規チェックリスト

法規基準（法36：技術的基準）		要否	設 計 内 容			
耐火、準耐火	法27、法別1、令115の2の2、令115の3	△	準耐火建築物（ロー2）1,000㎡未満区画			
居室 採光 換気	法28-1、令19 法28-2、令20の2	○	工作車庫：採光・換気共に1/20			
石綿等化学物質	法28の2、令20の4	○	石綿等を含まず、F☆☆☆☆の建材とする 図面及び計算書 別紙			
界壁	法30、令22の3、令114	△	対象外：工場			
便所	法31	△	増築部：なし			
避雷設備	法33、令129の14、令129の15	△	対象外：20m未満			
廊下	法34、令119	△	対象外			
廊下階段出口	法35特建基準、令5章2節	○	歩行距離60m以内 令116条の2の窓を有する場合：30m以内			
排煙設備	令5章3節	○	工作車庫：1/50			
非常用照明	令5章4節	△	対象外：工場			
非常進入口	令5章5節	△	対象外：1階			
敷地内通路	令5章6節	△	対象外			
内装制限	法35の2、第5章の2	△	対象外：工場			
階段、傾斜路	令2章3節 国土交通省告示第709号（屋内階段）	○	階段	幅員	けあげ	踏面
			屋内：法基 乗降台（階段）	750mm以上 1,000mm	220mm以下 210mm	210mm以上 250mm
			屋外：法基 傾斜路 階段（勝手口）	750mm以上 5000mm以上 975mm以上	勾配：1/8以下 勾配：1/10 150mm	250mm
防火区画						
面積区画	令112-1～4	△	対象外：不燃構造の口準耐、工場、床面積1,000㎡未満区画			
高層区画	令112-5～8	△	対象外：階数11階未満			
縦穴区画	令112-9	△	対象外：階数1			
異種用途区画	令112-12	△	対象外			
配管設備	令112-15～16 令129-2-5	○	防火区画を貫通する配管、隙間に不燃材料充填 貫通部より1m以内不燃材料			
換気設備	令129-2-6	○	設備資料参照			
材料の品質	法37	○	J I S、J A S の 適 合 品 を 使 用			
消防法		○	防災予防 図示			
火を使用する設備等に対する条例	法9条・・・条例	○	有窓階・開口部の構造 適合			
無窓階	施行規則第5条の2	○				

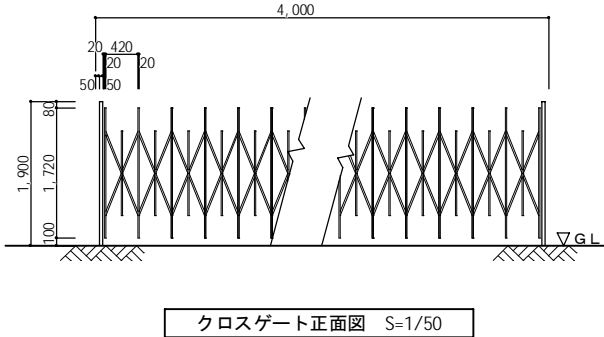
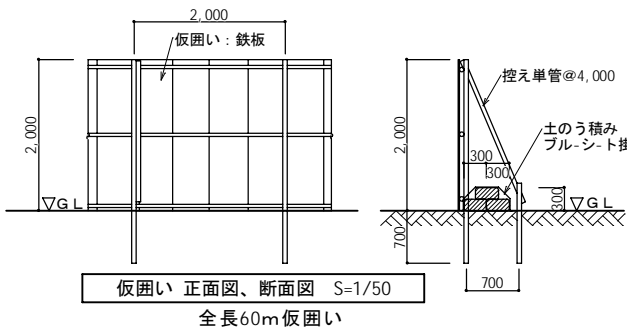
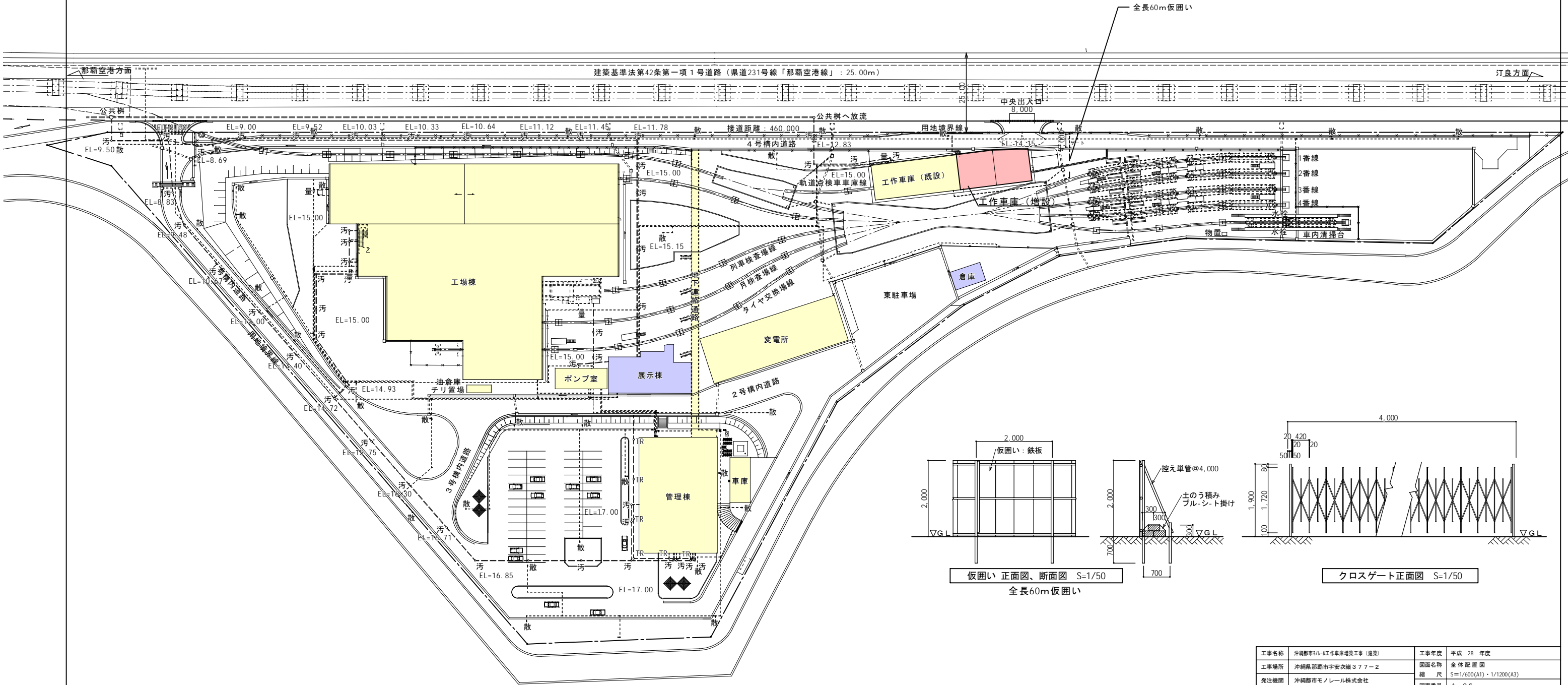
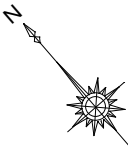
工作車庫棟

出力日：2016/11/18

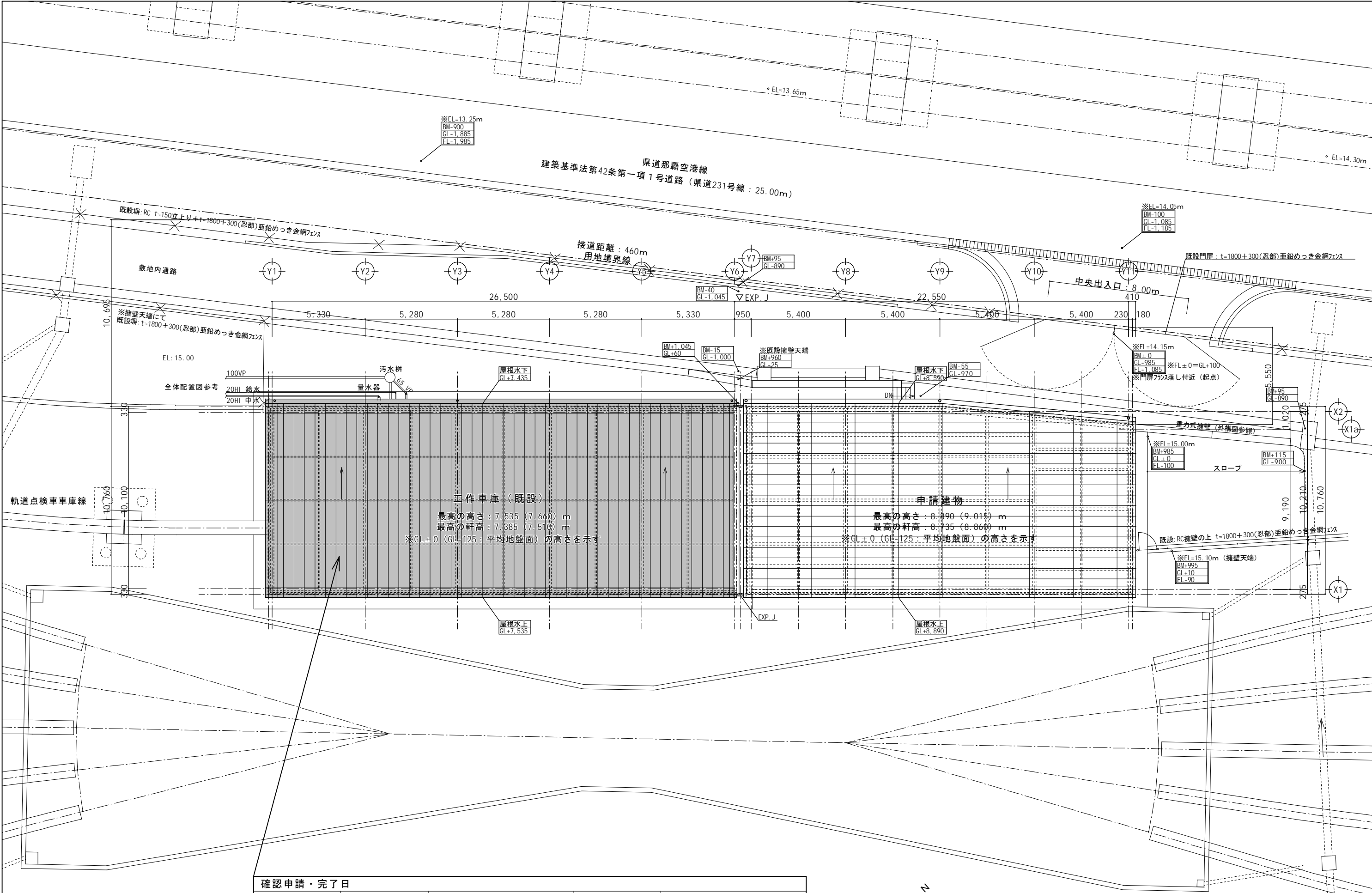
工事名称	沖縄都市モノール工作車庫増築工事（建築）			工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市字安次嶺 377-2			図面名称	物件概要、附近見取図、法チェックリスト
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社			縮 尺	NON SCALE
構 要				図面番号	A-04
	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称 株式会社 根路銘設計 資格者氏名 一級建築士 根路銘 剛次 登 録 番 号 大匠登録 第312770号 所 在 地 沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



確認申請・完了日				
建物名称	確認年月日	確認番号	検査済証交付日	検査済証番号
工場棟	平成11年06月21日	第 H11認建那覇000230 号	平成12年12月25日	第 H12証建那覇000489 号
工作車庫	※計画変更	※計画変更		
ポンプ室	平成12年12月19日	第 H12認建那覇000869 号		
管理棟				
車庫				
変電所棟				
地下 連絡通路				
油倉庫 チリ置場				
建物名称	確認年月日	確認番号	検査済証交付日	検査済証番号
倉庫	平成14年05月29日	第 H14確建建築那覇市000070 号	平成15年09月22日	第 H15確済建築那覇市000173 号
展示棟				



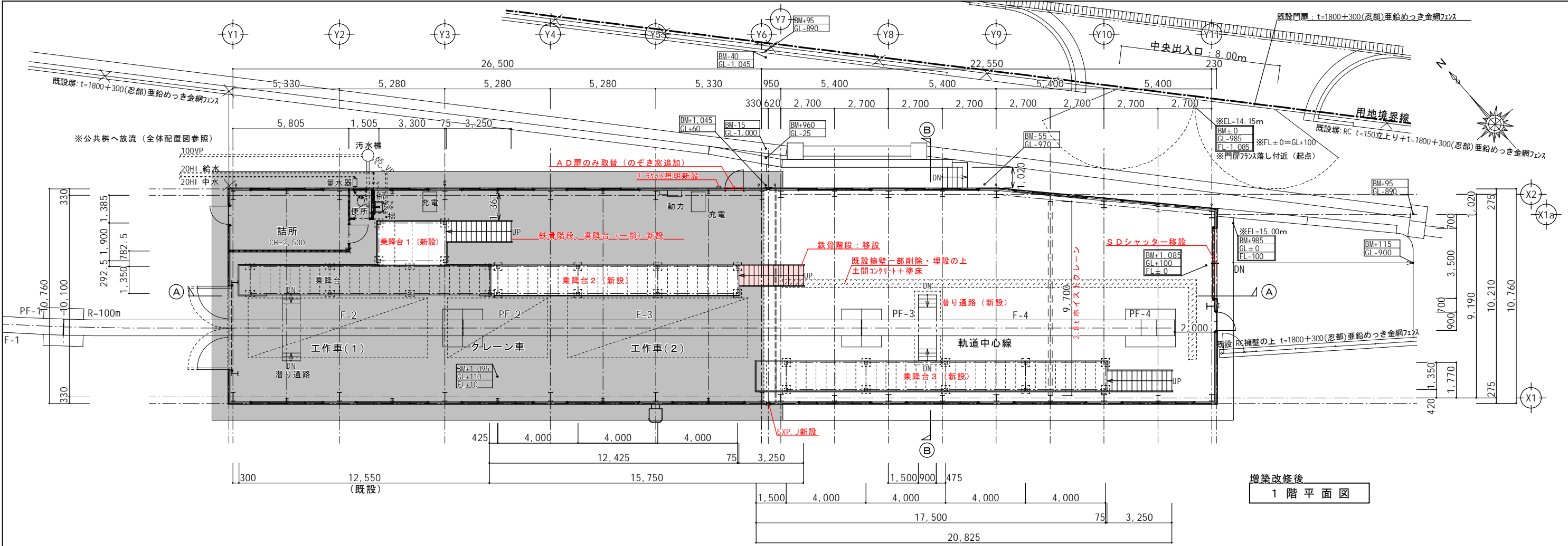
工事名称		沖縄都市モノレール工作車庫増設工事（建築）		工事年度	平成 28 年度
工事場所		沖縄県那覇市宇安次機 377-2		図面名称	全体配置図
発注機関		沖縄都市モノレール株式会社		縮 尺	S=1/600(A1)・1/1200(A3)
摘 要				図面番号	A-06
機 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	株式会社 根路銘設計
				資格者氏名	一級建築士 根路銘 剛次
				登 録 番 号	大匠登録 第312770号
				所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



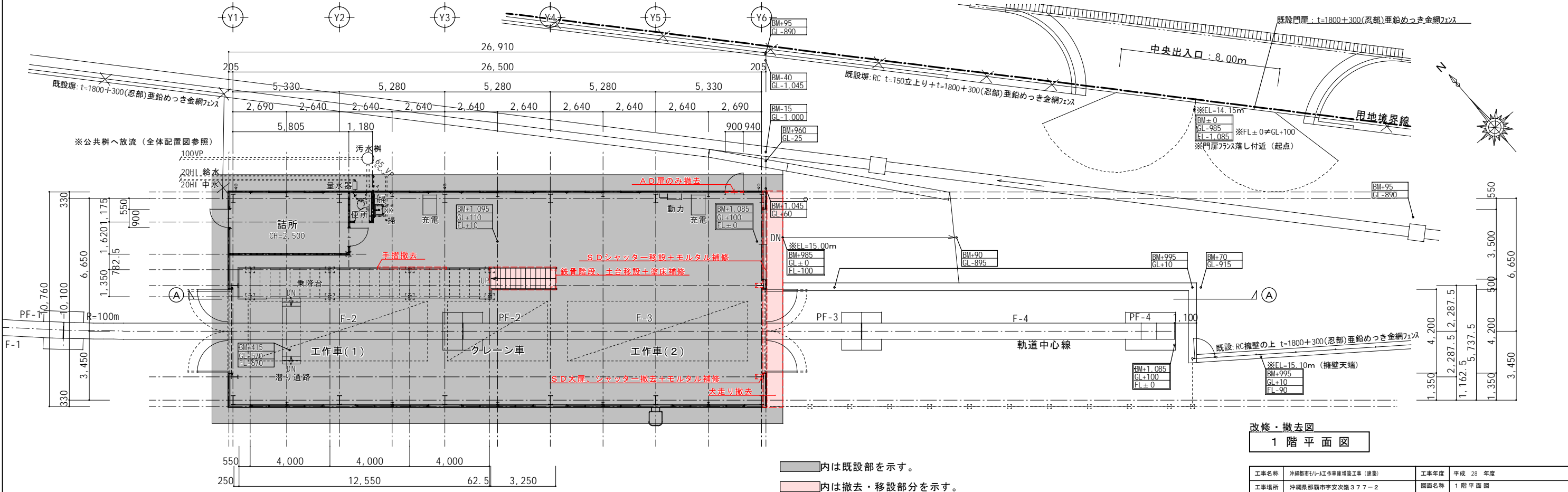
確認申請・完了日					
建物名称	確認年月日	確認番号	検査済証交付日	検査済証番号	
工作車庫（既設）	平成11年06月21日	第 H11認建那覇000230	平成12年12月25日	第 H12証建那覇000489	号
	※計画変更	※計画変更			
	平成12年12月19日	第 H12認建那覇000869			

工作車庫棟
出力日：2016/11/18

工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次権377-2	図面名称	配置図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-07
		設 名 称	株式会社 根路銘設計
検 印		資格者氏名	一級建築士 根路銘 剛次
		登 録 番 号	大匠登録 第312770号
		所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



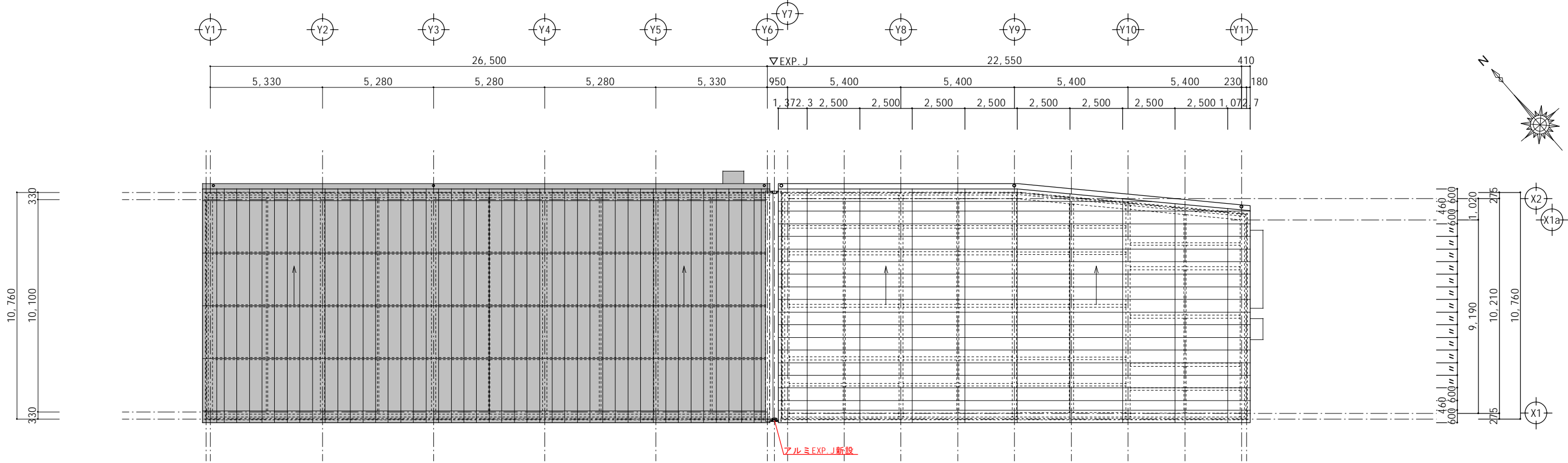
増築改修後
1階平面図



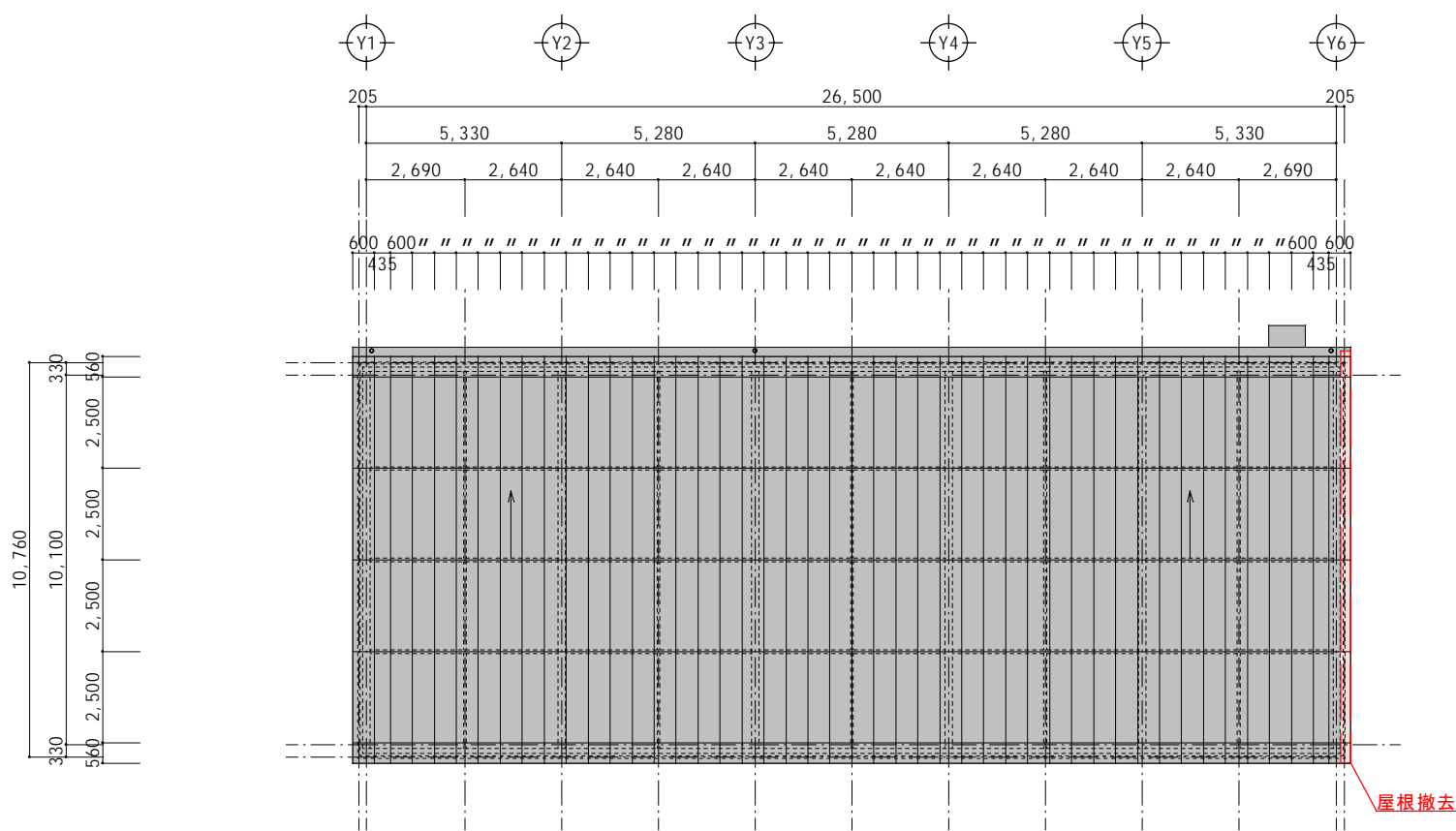
改修・撤去図
1階平面図

■内は既設部を示す。
■内は撤去・移設部分を示す。

工事名称	沖縄都市モノレール1号線増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安嶺377-2	図面名称	1階平面図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
摘 要	図面番号 A-09		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
	資格者氏名	一級建築士 根路銘 剛次	設 名 称 株式会社 根路銘設計
	登 録 番 号	大匠登録 第312770号	計 資 格 者 氏 名
	所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番11号	登 録 番 号



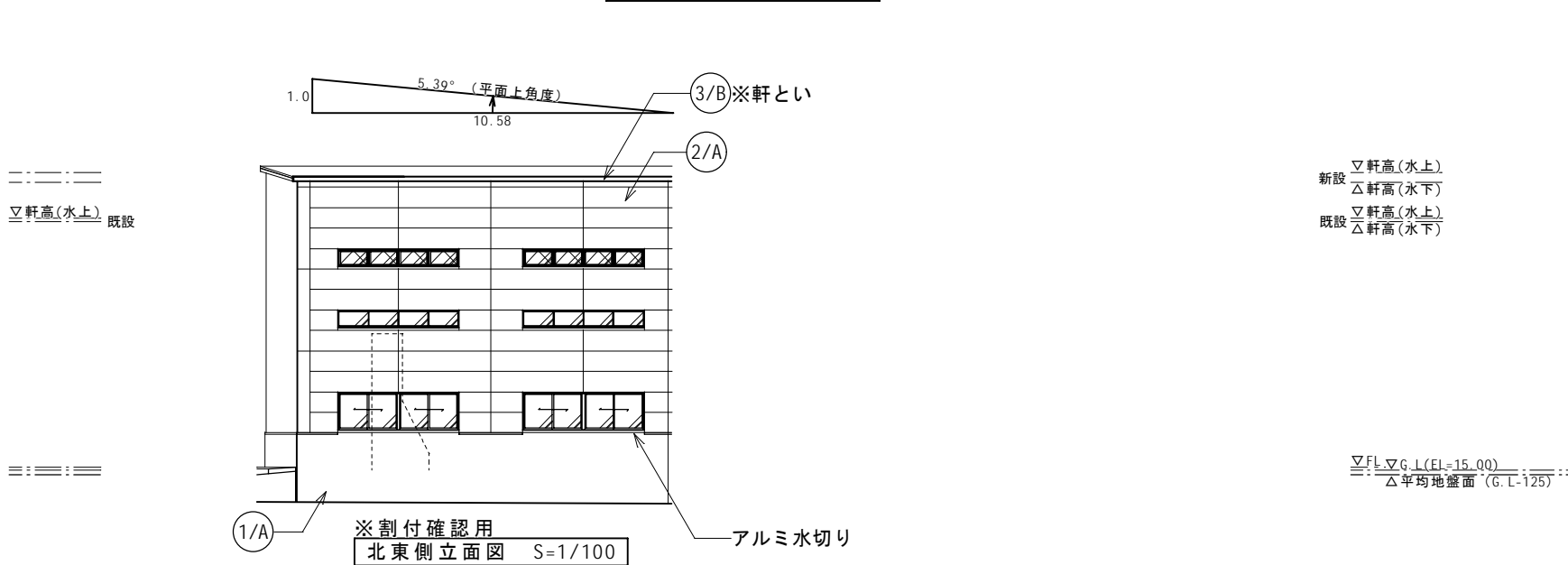
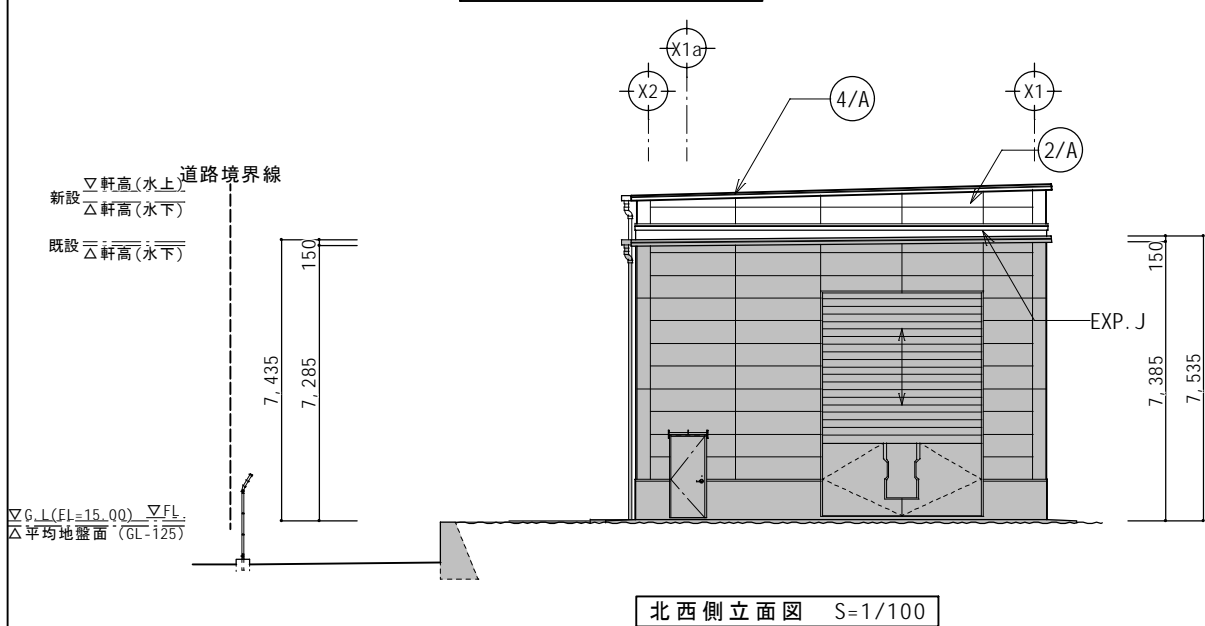
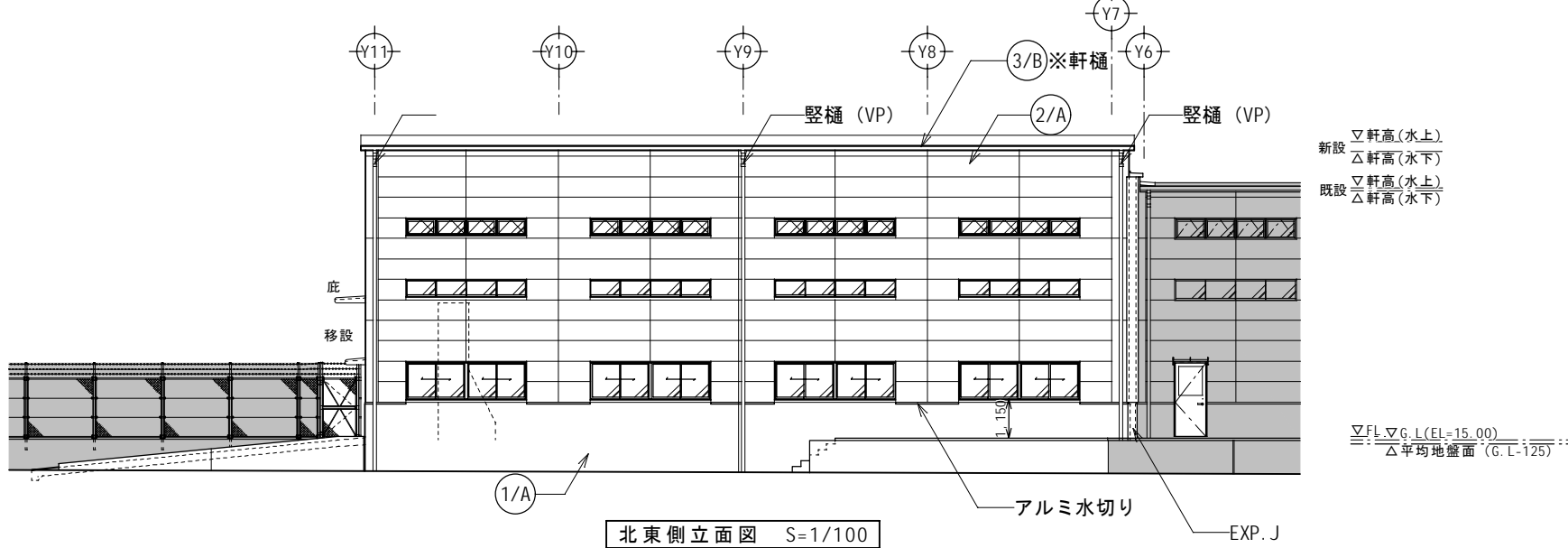
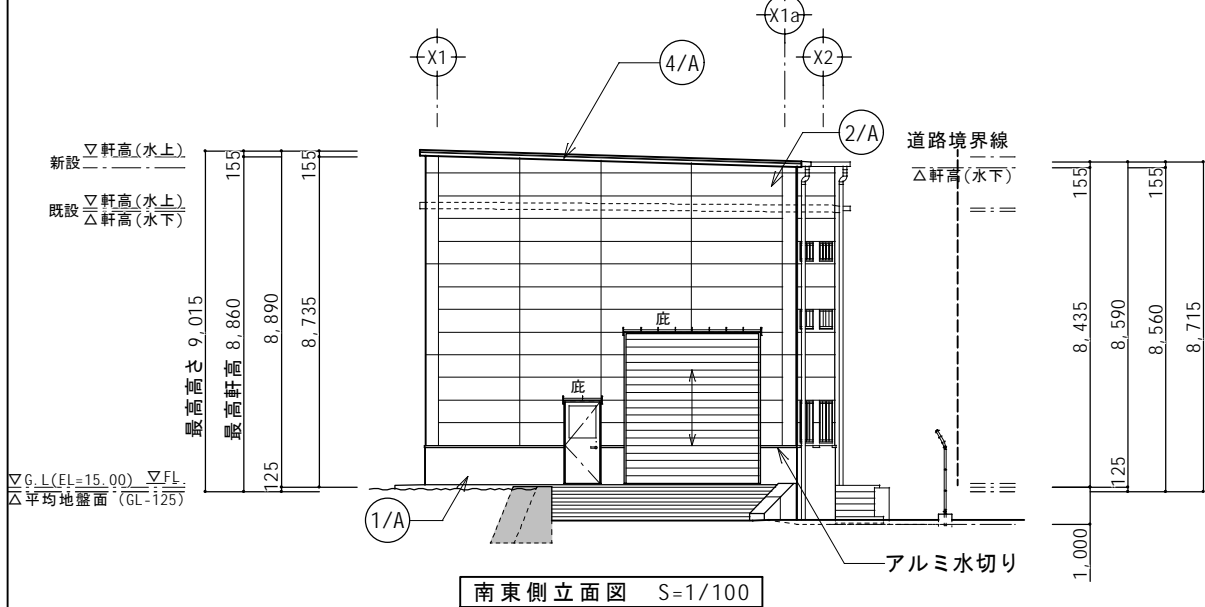
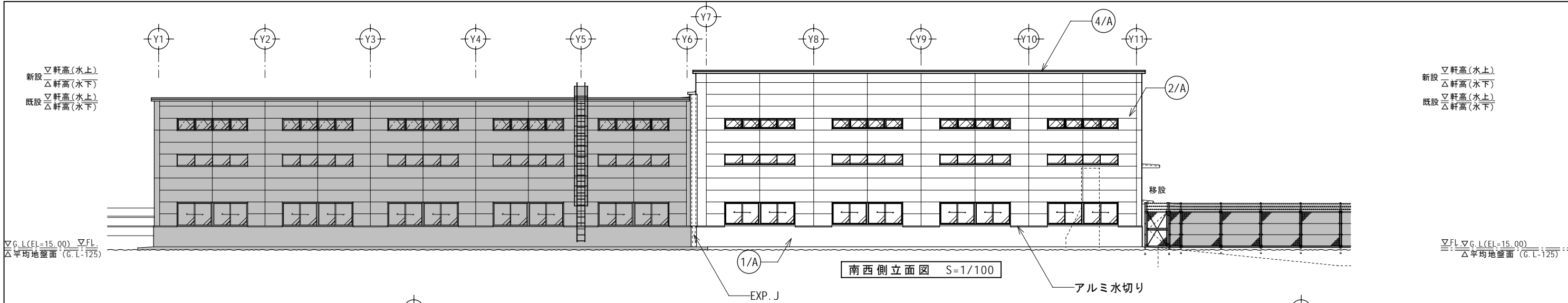
増築改修後
屋根平面図



内は既設部を示す。
内は撤去・移設部分を示す。

改修・撤去図
屋根平面図

工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次嶺 3 7 7-2	図面名称	屋根平面図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
摘 要	図面番号 A-10		
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 計 者	名 称	株式会社 根路銘設計	
	資格者氏名	一級建築士 根路銘 剛次	
	登 録 番 号	大匠登録 第312770号	
	所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号	



- 大規模行為（景観に関する配慮事項）
- 建物

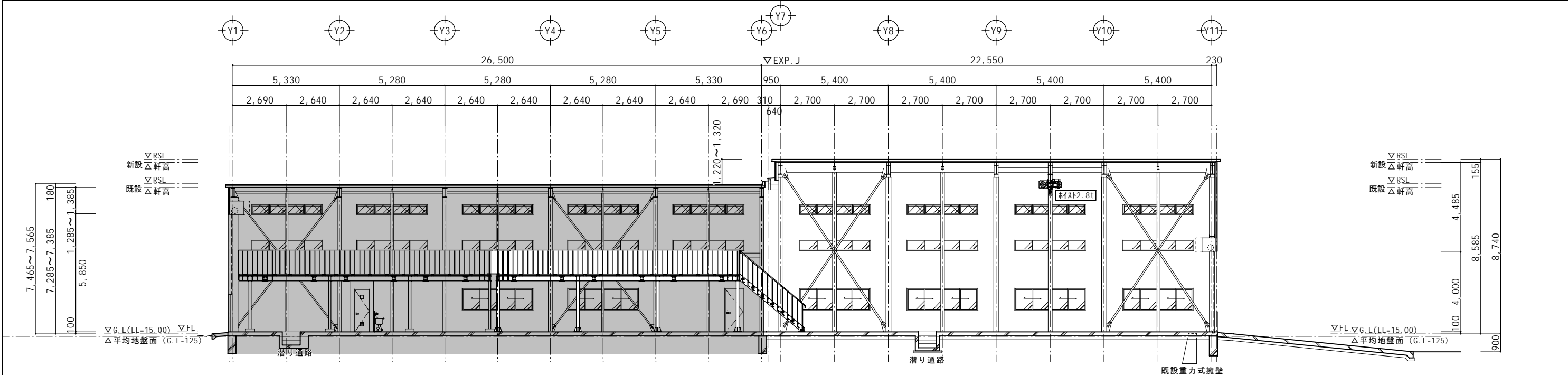
色彩

- ・那覇市タウンカラースタンダードに準ずる。

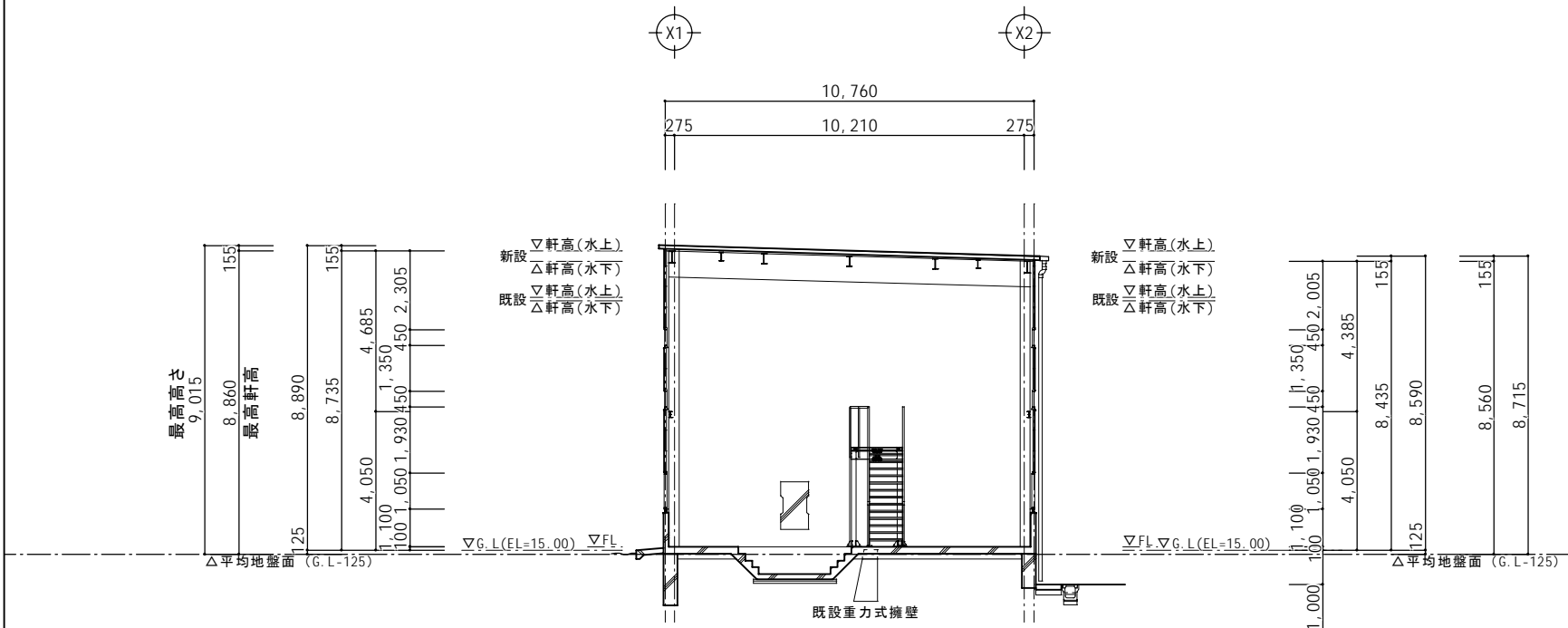
■仕上表				■特記事項・備考			
区分	下地		区分	仕上			
1	RC-A		A	素地のまま			
2	厚60mmECP板		B	SOP			
3	塩ビ鋼板		C				
4	アルミ		D				
5			E				

内は既設部を示す。

工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次嶺 377-2	図面名称	立面図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
摘要		図面番号	A-11
管理建築士	設計	製図	
検印			
設計者	名称	株式会社	根路銘設計
	資格者氏名	一級建築士	根路銘 剛次
	登録番号	大臣登録	第312770号
	所在地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号	



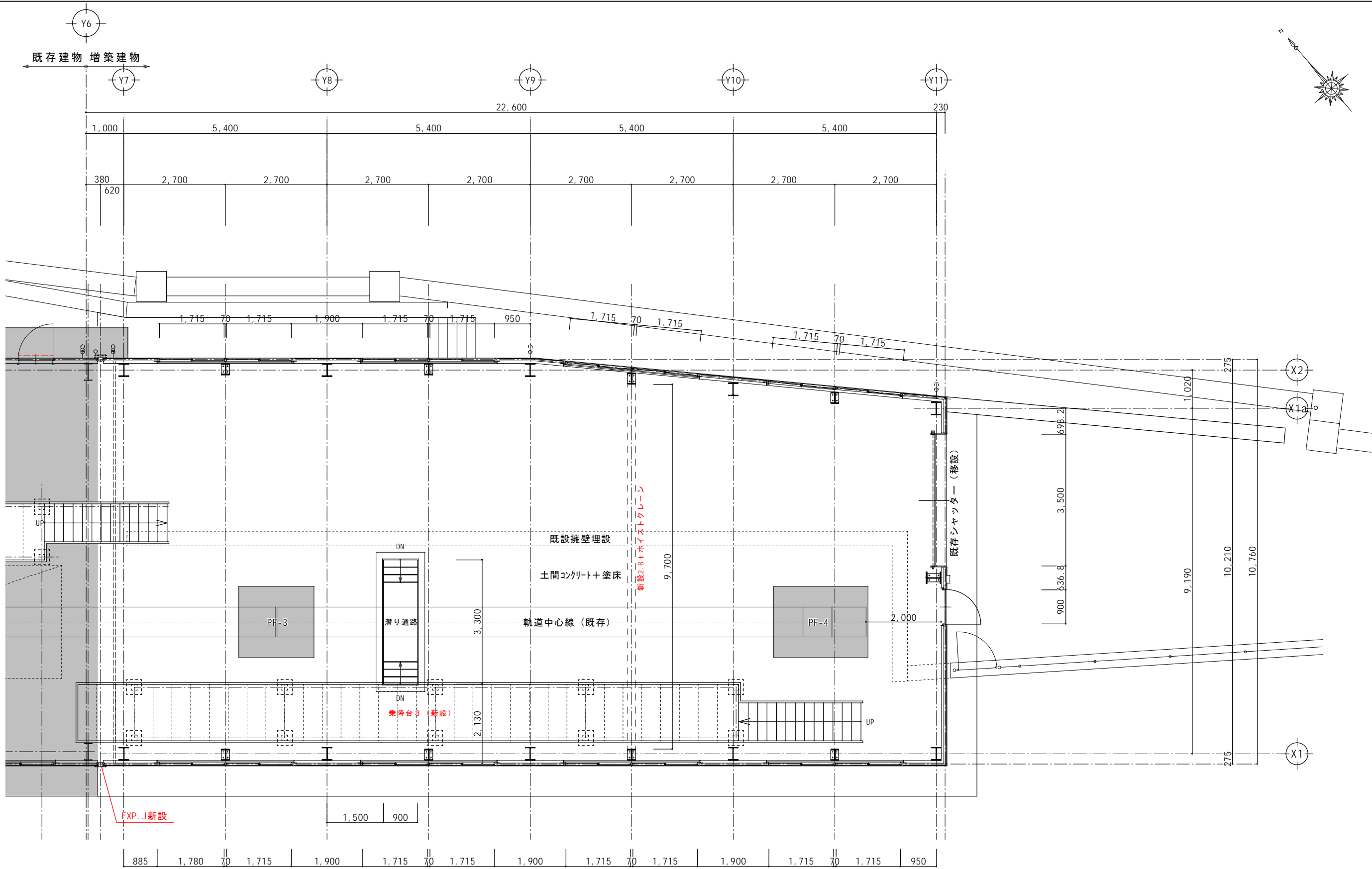
A - A 断面図 S=1/100



B - B 断面図 S=1/100

内は既設部を示す。

工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次嶺 377-2	図面名称	断面図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
摘 要		図面番号	A-12
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 計 者	名 称 株式会社 根路銘設計 資格者氏名 一級建築士 根路銘 剛次 登 録 番 号 大臣登録 第312770号
		所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



1 階平面詳細図 1 S=1/50

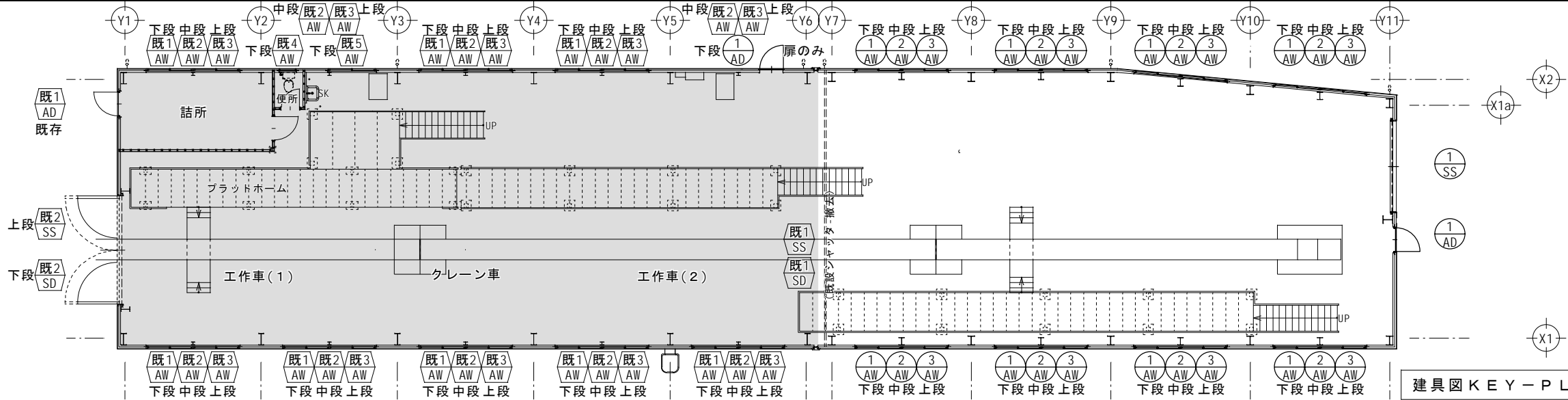
凡例

- 既設部分を示す。
- 今回増築部分を示す。

工作車庫棟

出力日: 2016/11/18

工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増築工事 (建築)	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次機 377-2	図面名称	1 階平面詳細図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
描 要		図面番号	A-14
検 印		設 計	株式会社 根路銘設計
		製 図	資格者氏名 一級建築士 根路銘 剛次
			登 録 番 号 大臣登録 第312770号
			所 在 地 沖縄県那覇市松山2丁目8番17号

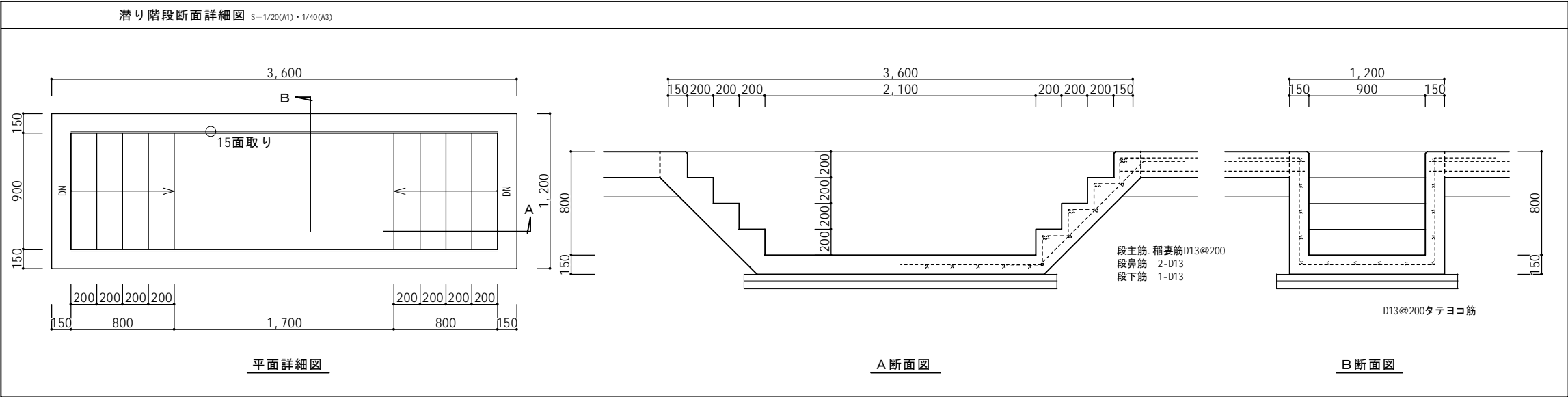
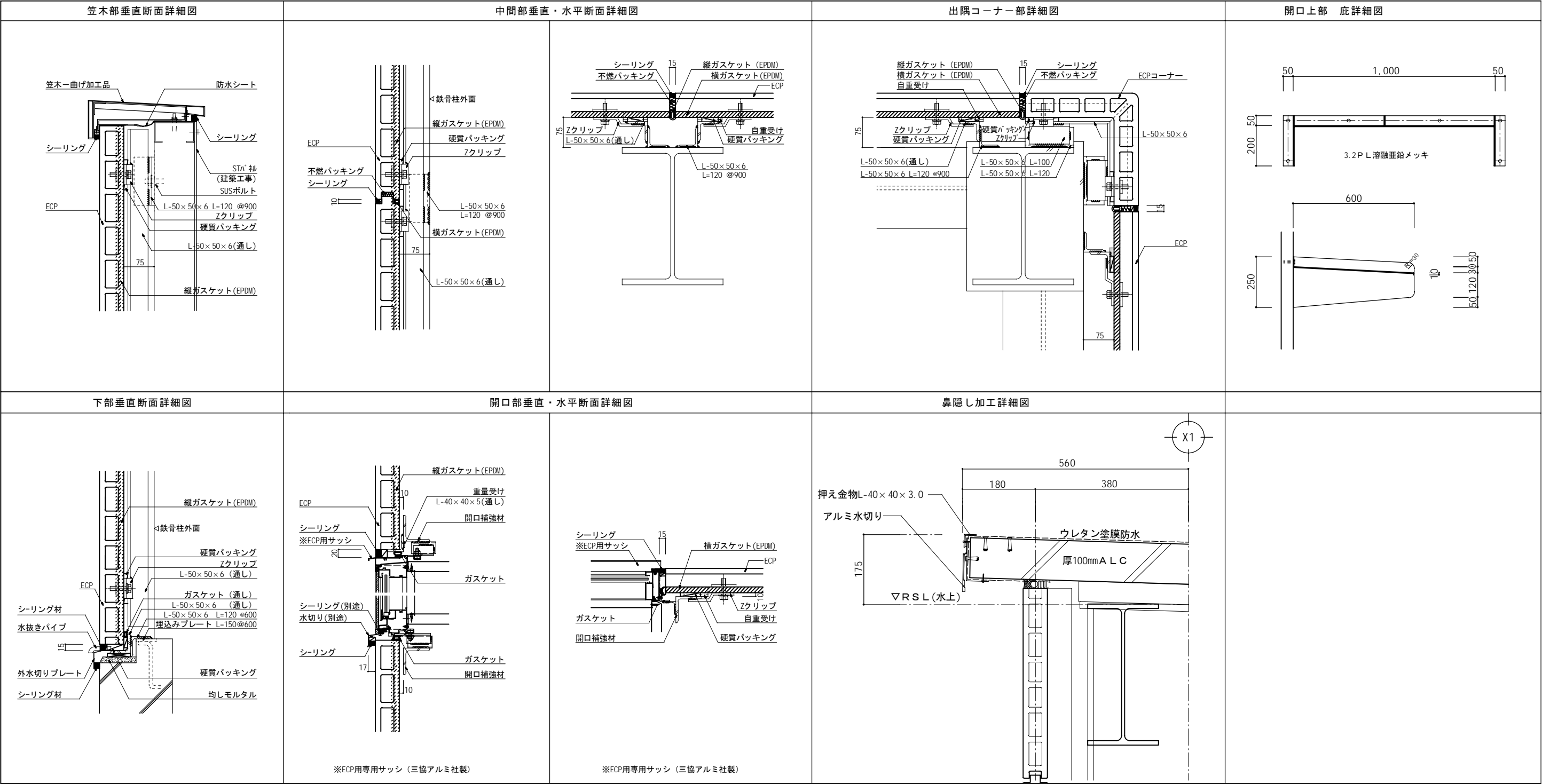


建具図KEY-PLAN

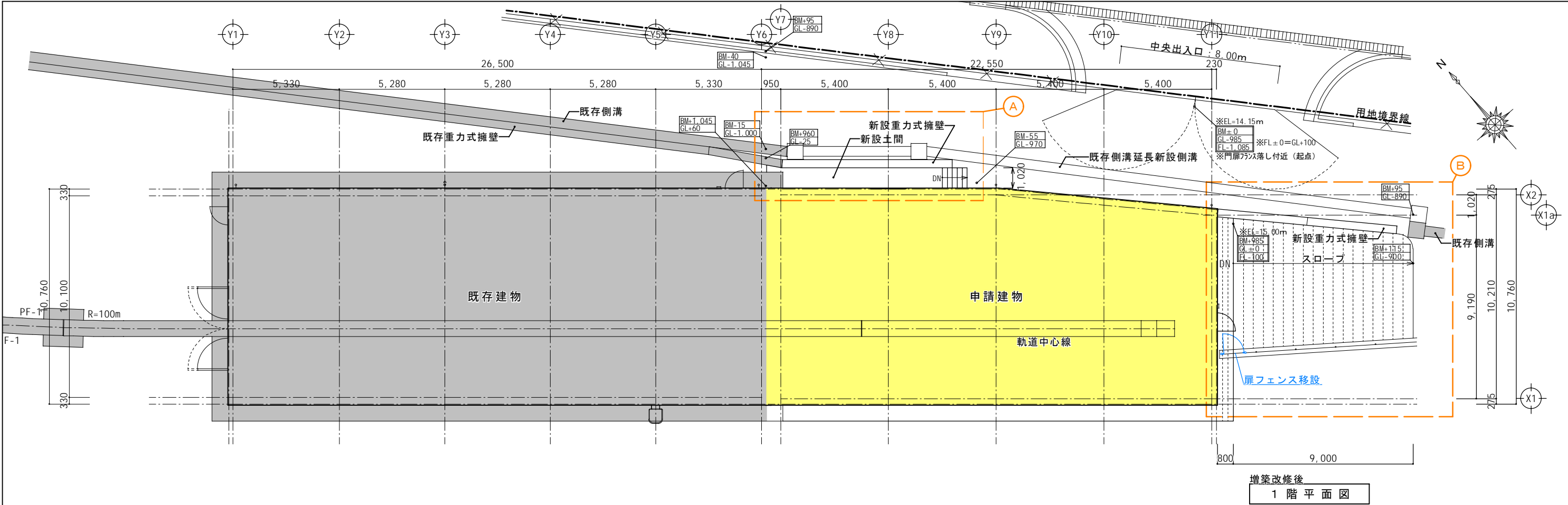
鋼製建具表

形状・寸法			記号・形式 場所・数量	③/既3 AW/ AW 工作車庫 8 箇所	① AD 工作車庫 2 箇所	① 電動重量シャッター（耐風型） SS 工作車庫 1 箇所
			材質・仕上	枠、戸：アルミ電解着色アルマイト被膜	(1か所は扉のみ取り換え)	
			見込	枠：70mm		
			ガラス	厚6.8mm網入り型板		
			金物	手動式オペレーター 付属金物一式		
			備考	アルミ水切り		
			記号・形式 場所・数量	②/既2 AW/ AW 工作車庫 8 箇所		
			材質・仕上	枠：アルミ電解着色アルマイト被膜		
			見込	枠：70mm		
			ガラス	厚6.8mm網入り型板		
		金物	付属金物一式			
		備考	アルミ水切り			
記号・形式 場所・数量	既4 AW 工作車庫 1 箇所		既5 AW トイレ 1 箇所	既1 AD 詰所、工作車庫 1 箇所	既2/既2 電動重量シャッター（耐風型） SD/ SS 工作車庫 1 箇所	
材質・仕上	枠、戸：アルミ電解着色アルマイト被膜		枠、戸：アルミ電解着色アルマイト被膜	枠、ドア：アルミ電解着色アルマイト被膜		

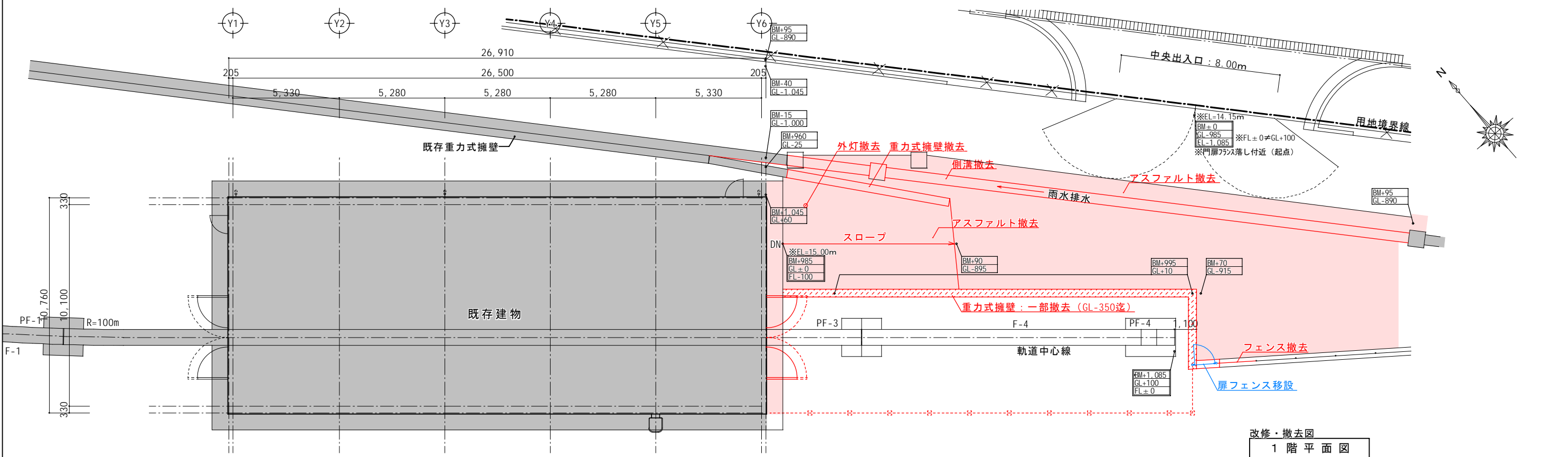
< E C P 横張 2 次 防 水 工 法 >



工事名称	沖縄都市モノレール工事車庫増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次嶺 377-2	図面名称	アスロック標準図、雑詳細図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/5(A1)・1/10(A3)
摘 要		図面番号	A-16
検 印	管理建築士 設 計 製 図	設 計 者	名 称 株式会社 根路銘設計
			資格者氏名 一級建築士 根路銘 剛次
			登 録 番 号 大臣登録 第312770号
			所 在 地 沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



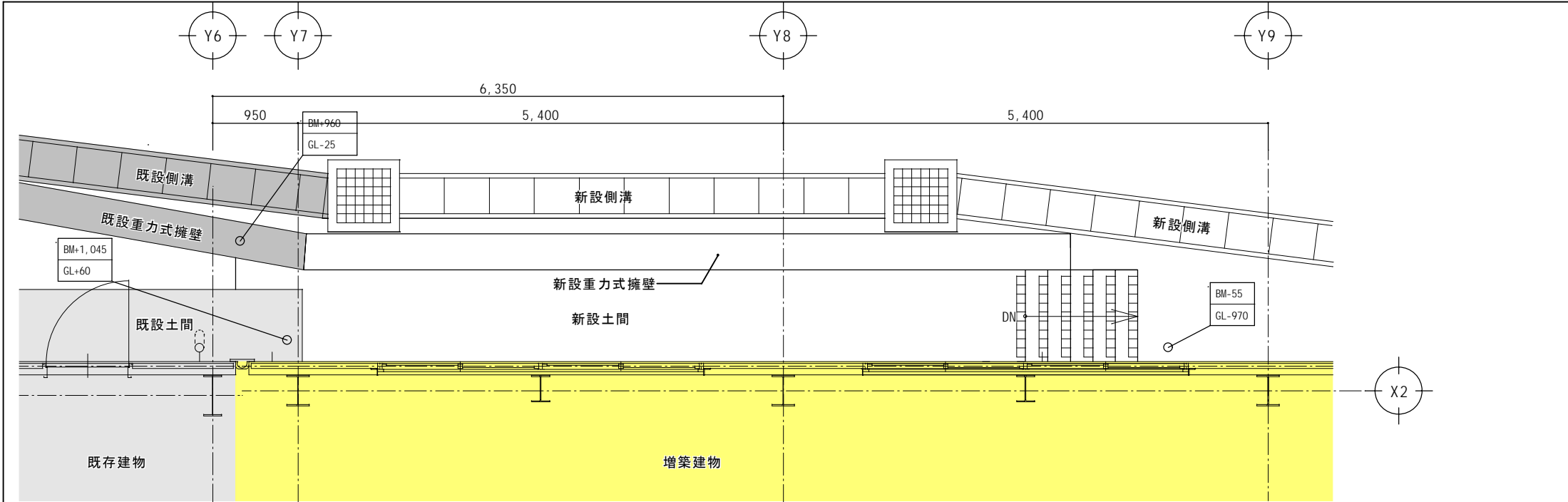
増築改修後
1 階 平 面 図



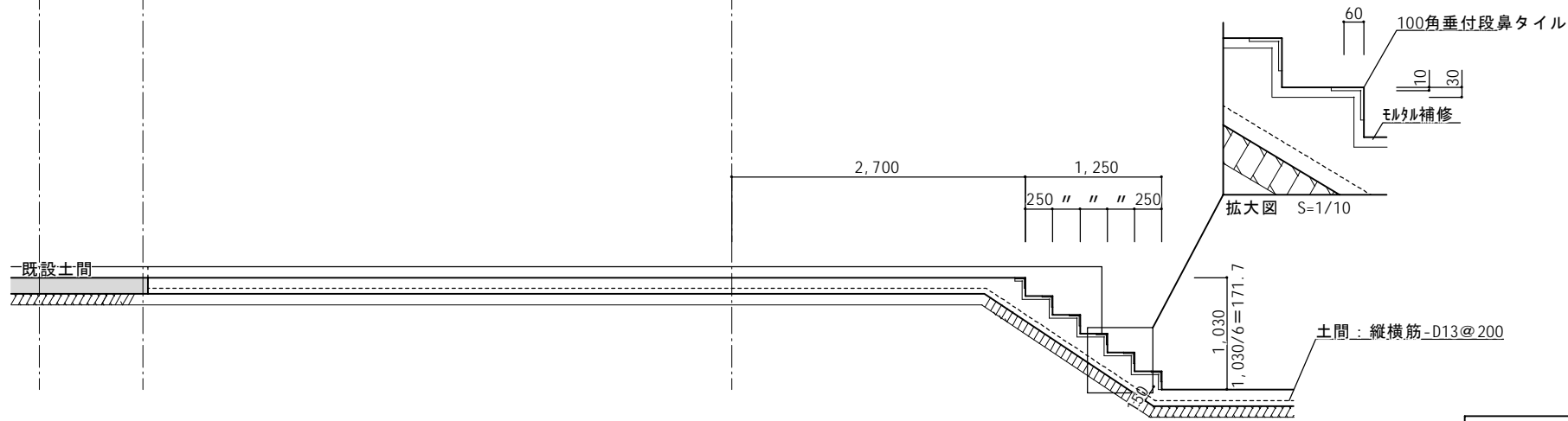
改修・撤去図
1 階 平 面 図

■内は既設部を示す。
■内（赤線部分）は撤去部分を示す。
■青線は移設部分を示す。

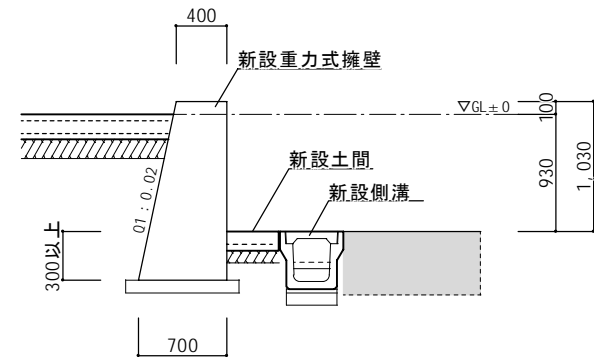
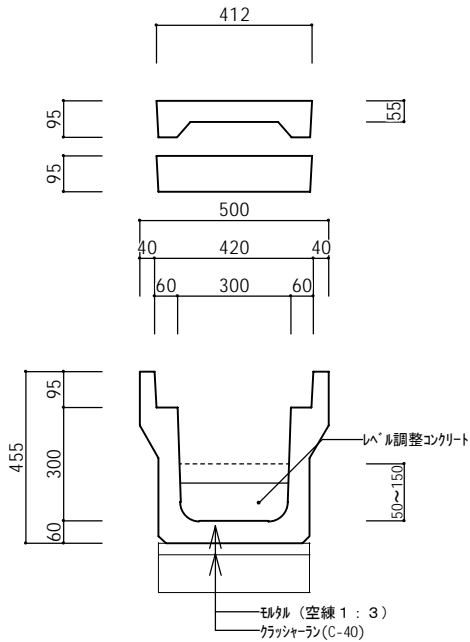
工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増築工事（建築）	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次機 377-2	図面名称	外 構 図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
構 要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-17
検 印		設 名 称	株式会社 根路銘設計
		資格者氏名	一級建築士 根路銘 剛次
		登 録 番 号	大匠登録 第312770号
		所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



A 部詳細図 S=1/30



A 階段断面図 S=1/30

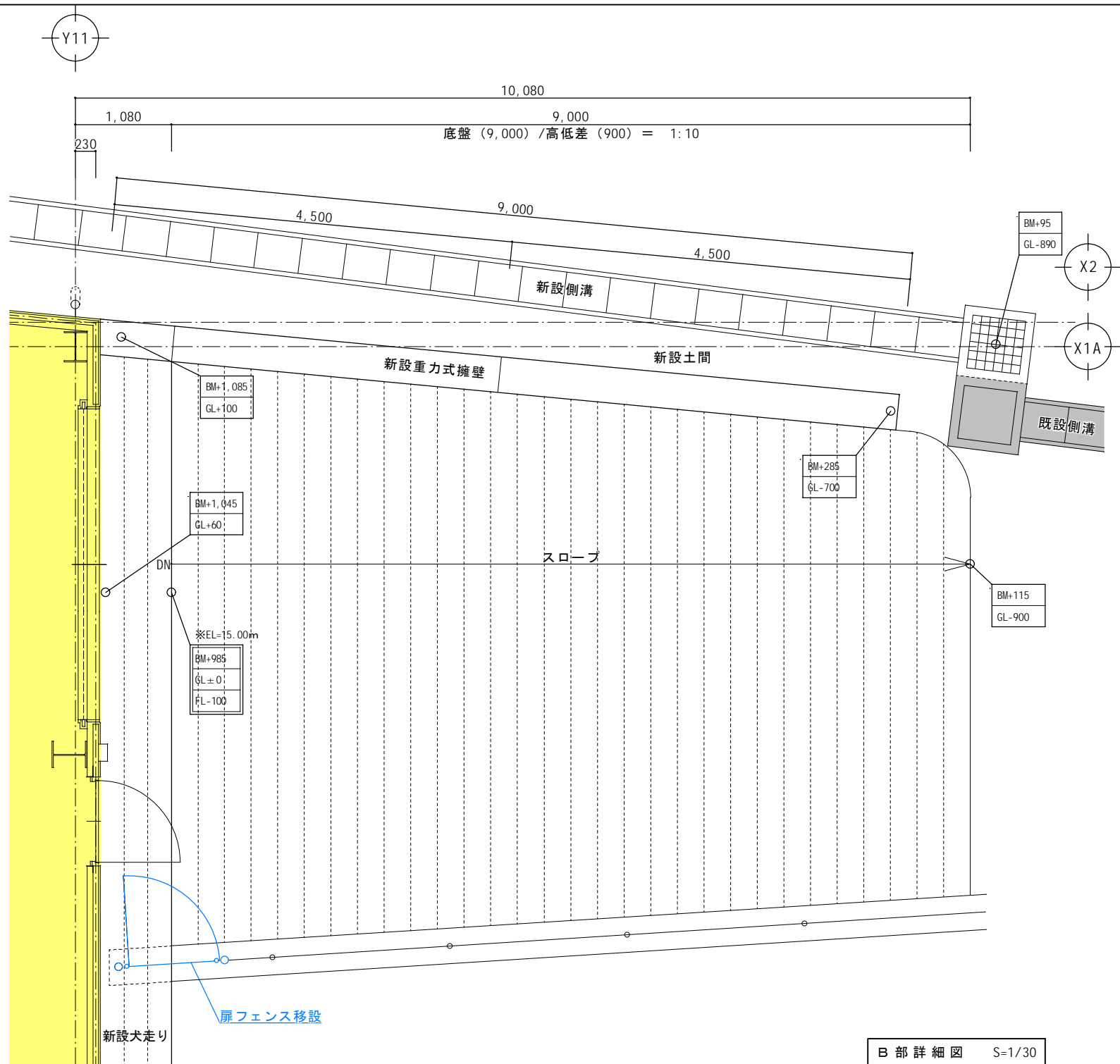


(300 A) L=600 1種
新設側溝：落蓋式U型側溝（蓋付） S=1/10

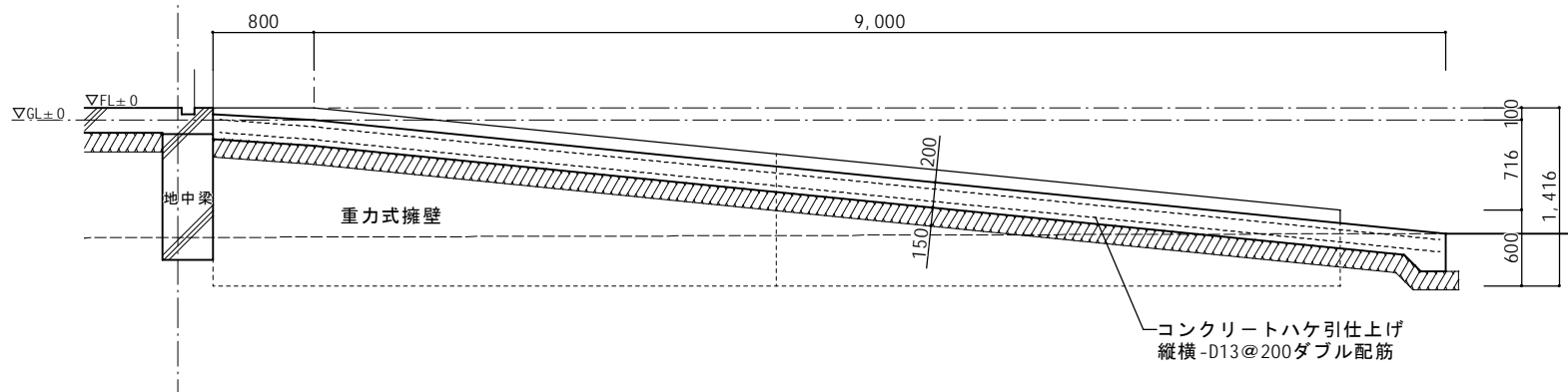
※コンクリートは、FC-21-15（18）とする。
※レベルは、現場管底位置を確認後施工の事。

工作車庫棟
出力日：2016/11/18

工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増設工事（建築）			工事年度	平成 28 年度	
工事場所	沖縄県那覇市宇安次機 377-2			図面名称	外 構 詳 細 図	
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社			縮 尺	S=1/10, 30(A1)・1/20, 60(A3)	
摘 要				図面番号	A-18	
	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称 株式会社 根路銘設計 資格者氏名 一級建築士 根路銘 剛次 登 録 番 号 大匠登録 第312770号 所 在 地 沖縄県那覇市松山2丁目8番17号	

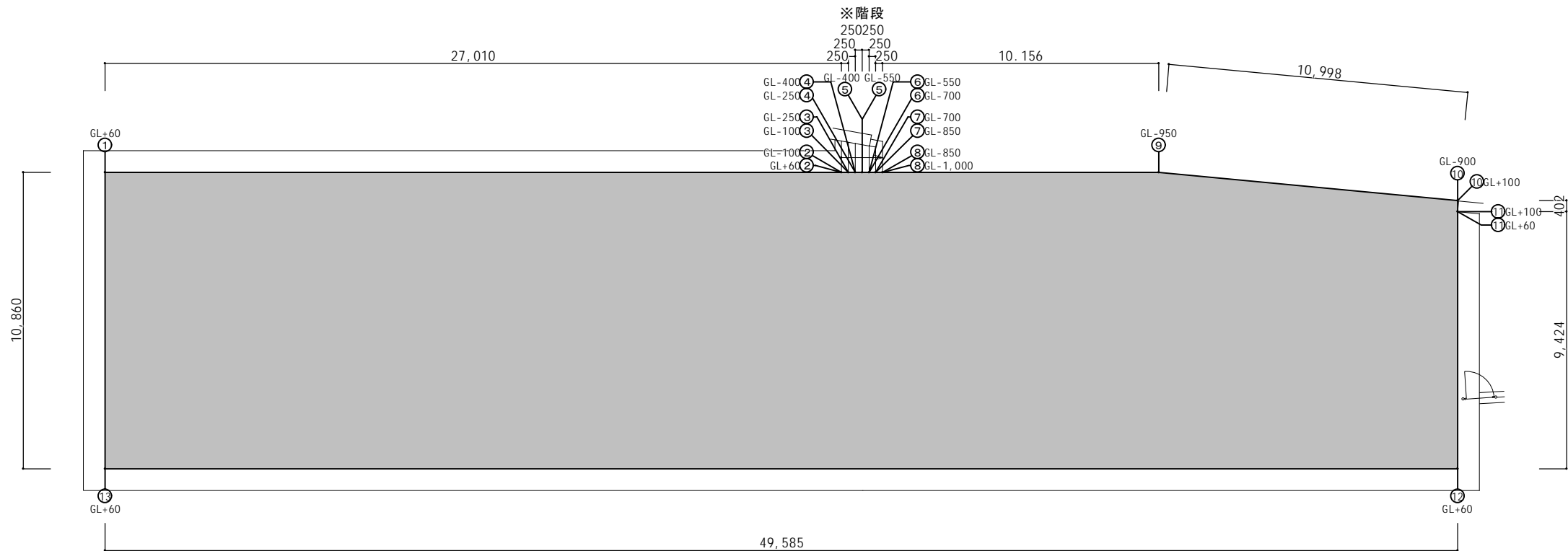


B 部 詳細図 S=1/30



B 部 断面図 S=1/30

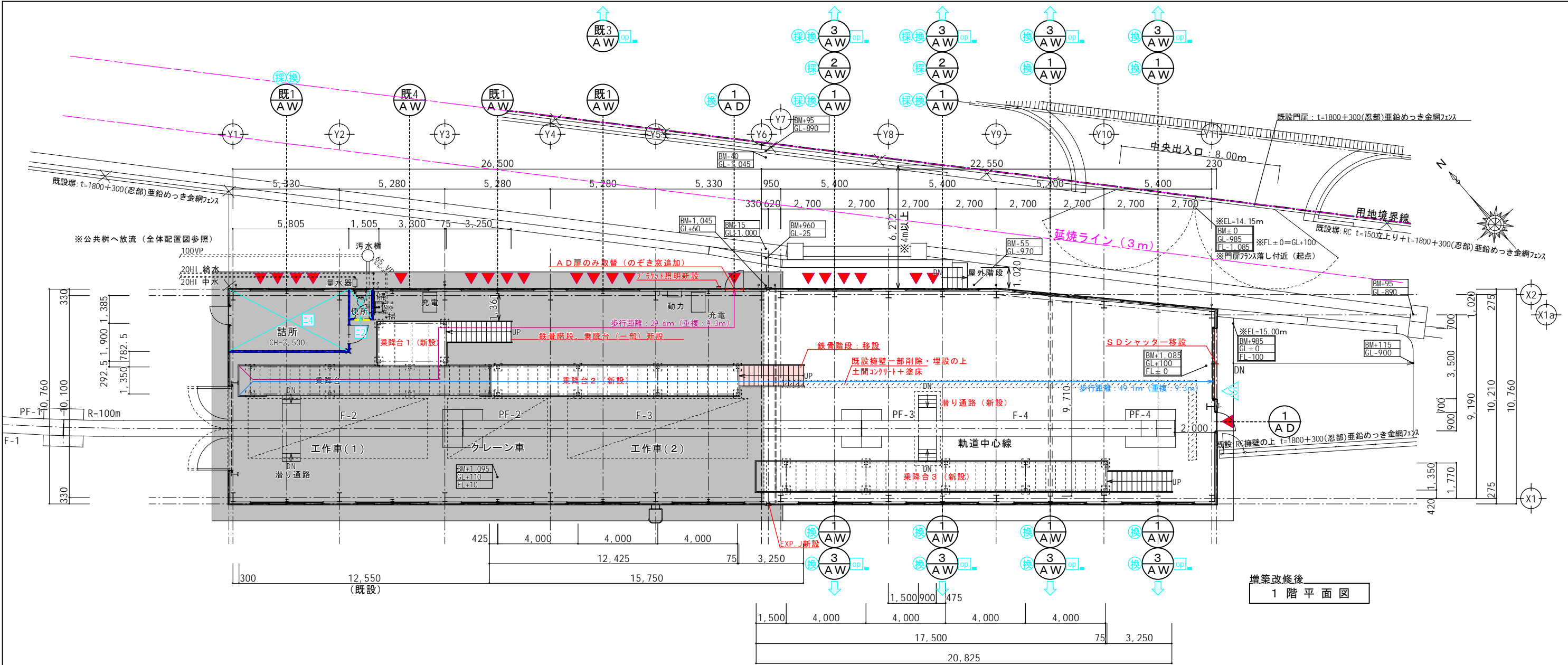
工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増設工事 (建築)	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次嶺 377-2	図面名称	外構詳細図
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/10, 30(A1)・1/20, 60(A3)
描 要		図面番号	A-19
設 計	管理建築士	名 称	株式会社 根路銘設計
検 印		資格者氏名	一級建築士 根路銘 剛次
		登 録 番 号	大臣登録 第312770号
		所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



全周長 (m) = 119.935 (距離の計)
面積の計 (m2) = -14.936
地盤面 (m) = -14.936 / 119.94 = -0.1245 (基準レベル (GL±0) より)
地盤面は GL = -0.125 とする

符号	GL(m)	距離 (m)		算定式		面積
1	0.060	1 - 2 間	27.010	(0.060 + 0.060) / 2 ×	27.010	1.621
2	0.060					
2	-0.100	2 - 3 間	0.250	(-0.100 + -0.100) / 2 ×	0.250	-0.025
3	-0.100					
3	-0.250	3 - 4 間	0.250	(-0.250 + -0.250) / 2 ×	0.250	-0.063
4	-0.250					
4	-0.400	4 - 5 間	0.250	(-0.400 + -0.400) / 2 ×	0.250	-0.100
5	-0.400					
5	-0.550	5 - 6 間	0.250	(-0.550 + -0.550) / 2 ×	0.250	-0.138
6	-0.550					
6	-0.700	6 - 7 間	0.250	(-0.700 + -0.700) / 2 ×	0.250	-0.175
7	-0.700					
7	-0.850	7 - 8 間	0.250	(-0.850 + -0.850) / 2 ×	0.250	-0.213
8	-0.850					
8	-1.000	8 - 9 間	10.156	(-1.000 + -0.950) / 2 ×	10.156	-9.902
9	-0.950					
9	-0.950	9 - 10 間	10.998	(-0.950 + -0.900) / 2 ×	10.998	-10.173
10	-0.900					
10	0.100	10 - 11 間	0.402	(0.100 + 0.100) / 2 ×	0.402	0.040
11	0.100					
11	0.060	11 - 12 間	9.424	(0.060 + 0.060) / 2 ×	9.424	0.565
12	0.060					
12	0.060	12 - 13 間	49.585	(0.060 + 0.060) / 2 ×	49.585	2.975
13	0.060					
13	0.060	13 - 1 間	10.860	(0.060 + 0.060) / 2 ×	10.860	0.652
1	0.060					

工事名称	沖縄都市モノール工作車庫増築工事 (建築)	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次地 377-2	図面名称	法チェック図 1 (平均地盤面)
発注機関	沖縄都市モノール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
描 要		図面番号	C-01
検 印		設 計	株式会社 根路銘設計
		資格者氏名	一級建築士 根路銘 剛次
		登 録 番 号	大匠登録 第312770号
		所 在 地	沖縄県那覇市松山2丁目8番17号



階	室名	床面積	用途
1階	詰所（既設）	18.780	居室
	合計	18.780	
	トイレ（既設）	1.660	室
	工作車庫（既設）	269.110	居室
	工作車庫	237.300	居室
	乗降台	45.530	室
	合計	551.940	

採光計算												
採光率 (分母)	必要面積	記号	d 水平距離	h 垂直距離	位置種類	道路に面する	W	H	A補正係数	カ所	有効面積	判定
20	0.94	既1/AW	※余裕があるため記入しない		通常	○	1.715	1.050	3	2	10.80	OK
対象外												
		1/AW			通常	○	1.715	1.050	3	4	21.61	
		2/AW			通常	○	0.856	0.450	3	8	9.24	
		3/AW			通常	○	0.856	0.450	3	8	9.24	
20	27.60	既1/AW	※余裕があるため記入しない		通常	○	1.715	1.050	3		40.09	OK

換 気 計 算									
換気率 (分母)	必要 面積	記号	W	H	開口 係数	力所	有効 面積	判定	
		既1/AW	1.715	1.050	0.50	2	1.80		
20	0.94						1.80	OK	
対象外									
		1/AW	1.715	1.050	0.50	16	14.41		
		3/AW	0.856	0.450	1.00	32	12.33		
		1/AD	0.900	2.000	1.00	1	1.80		
20	27.60						28.54	OK	

排 煙 計 算								
換気率 (分母)	必要 面積							判定
		記号	W	H	開口 係数	カ所	有効 面積	
建設省告示第1436号の4の2の(4)により免除(下地仕上共に不燃材料)								
建設省告示第1436号の4の2の(2)により免除(防煙垂れ壁)								
		3/AW	0.856	0.450	0.88	32	10.85	
		既3/AW	0.856	0.450	※突出し窓: 開口角60°とする	4	1.36	
50	11.04				※突出し窓: 開口角60°とする		12.21	OK

消防無窓の判定計算												
階	床面積	用途	開口率 (分母)	必要面積	開口部							判定
					符号	建具形状	記号	W	H	開口係数	箇所	
1階					○	1/AD	図示	0.900	2.000	1.0	2	
					※	既1/AW	図示	1.715	1.050	0.5	12	
					※	既4/AW	図示	1.750	1.050	0.5	1	
					※	1/AW	図示	1.715	1.050	0.5	6	
合計	588.66	工場	30	19.62							20.72	OK

○: 直径1m以上の円「又は、W=750、H=1,200」を内接できる開口部「2以上確保」
※: 各々のガラス窓がそれぞれ直径50cmの円が内接できる開口部「建築消防advice2014 15-12を参照」

LGS	建省告1436-4-ニ(2) 室(排煙設備の除外)
LGS (遮音)	100m以下、防煙たれ壁で区画
採	建省告1436-4-ニ(4) 居室(排煙設備の除外)
換	100m以下、壁・天井: 下地仕上共に不燃材料
延	避難上又は消化活動上有効な開口部
延	(消防法: 無窓階の判定)
短	建省120条による有効開口部
長	延焼ライン: 1階: 3m、2階以上: 5m以下
	外壁に設ける開口部は防火設備とする
	シャッター (随時閉鎖式: 感知連動式)
	建省120条による歩行距離
	居室-階段又は階段-屋外: 60m(無窓: 30m)以下

特記事項 (消防法)
● 各消火器の設置: 床面から1.5m以下の箇所に壁掛け固定またはBOX内設置とし、見やすい箇所に「消火器」のサイン表示をすること。

●階段(1)(建令120条、121条)フラット	●階段(2)(建令120条、121条)潜り通路	●階段(3)(建令120条、121条)屋外階段
・階段幅 (路場) 1000	900	900以上
・けあげ ≒206.78 (14段)	≒200 (4段)	≒150 (7段)
・路面 250	200	250
・手すり 設置 (自立式)	なし	設置 (自立式)
・構造 S造 (不燃材料)	R C造 (耐火構造)	R C造 (耐火構造)

※収容人員の算定: 従業員数 10名

工事名称	沖縄都市モノレール工作車庫増築工事 (建築)	工事年度	平成 28 年度
工事場所	沖縄県那覇市宇安次機 377-2	図面名称	法チェック図2 (平面、採換排、消防)
発注機関	沖縄都市モノレール株式会社	縮 尺	S=1/100(A1)・1/200(A3)
描 要		図面番号	C-02
検 印	管理建築士	設 計	製 図
設 名 称		株式会社 根路銘設計	
計 資格者氏名		一級建築士 根路銘 剛次	
者 登録番号		大匠登録 第312770号	
所 在 地		沖縄県那覇市松山2丁目8番17号	